

## 第 2 部

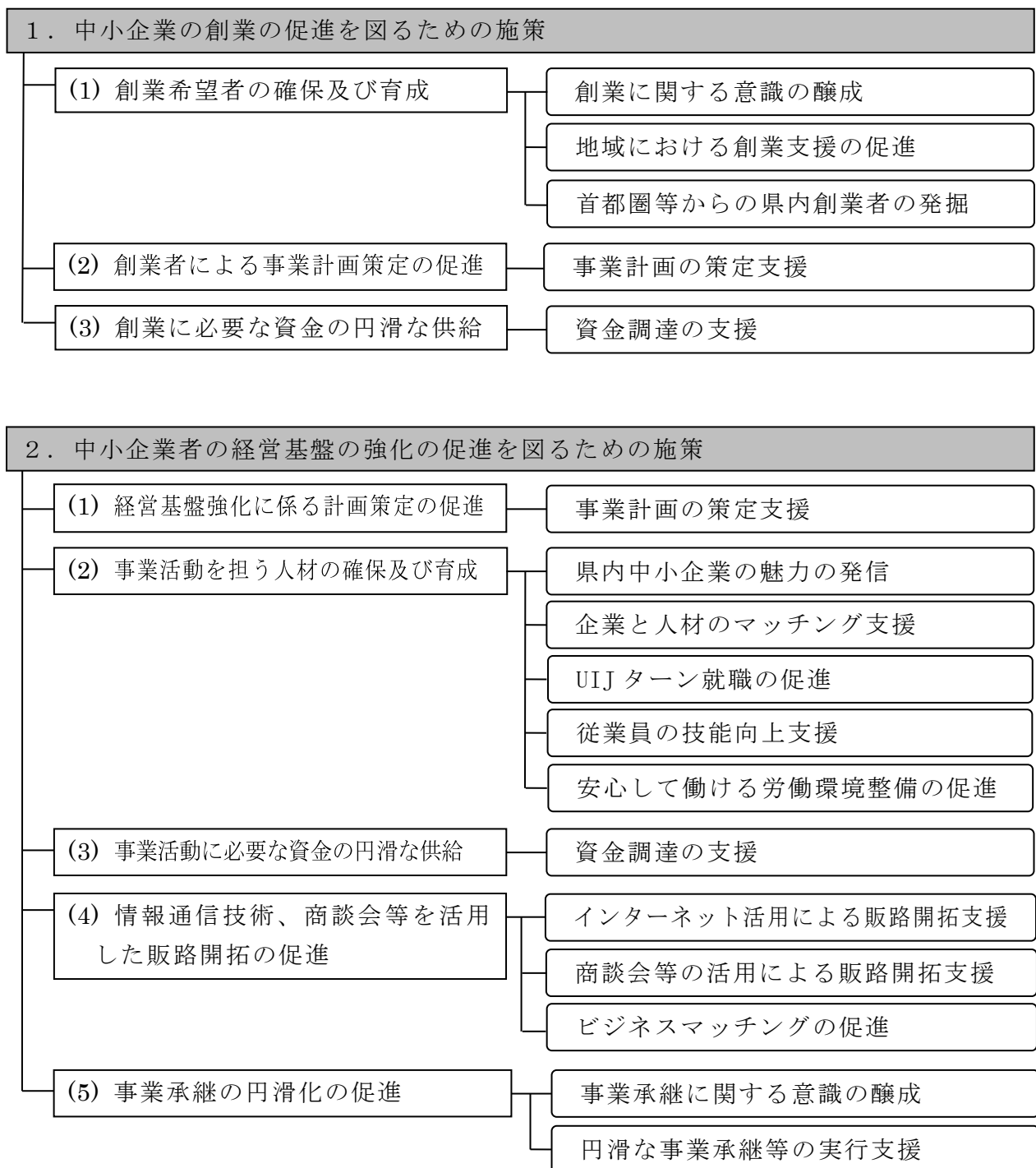
# 平成 29 年度 中小企業振興施策 の実施状況

# 第1章 推進する施策と平成29年度の実施内容

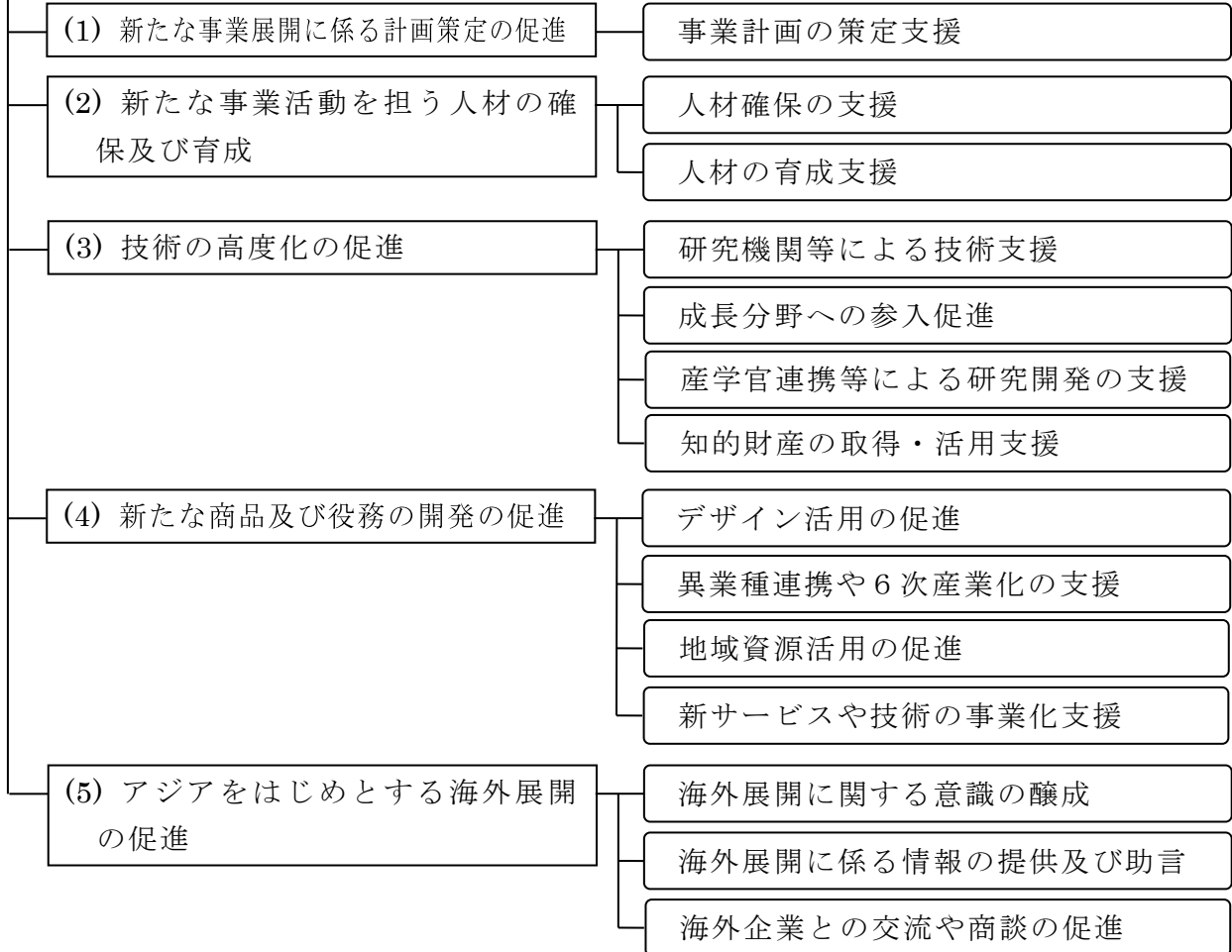
福岡県中小企業振興基本計画では、平成30年度までに推進する施策と主な取組を示し、中小企業に関係するすべての者が連携、協力して計画を推進していくとしています。

平成29年度は、基本計画に基づき推進する施策について、以下の取組を展開しました。

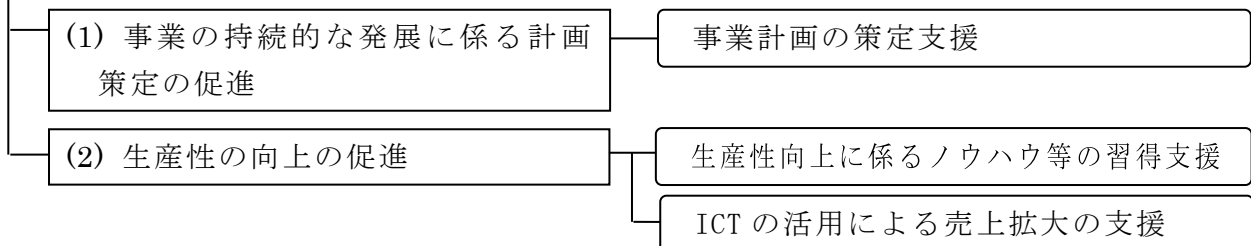
## <基本計画の施策体系>



### 3. 中小企業者の新たな事業展開の促進を図るための施策



### 4. 小規模企業者の事業の持続的な発展を図るための施策



## 1. 中小企業の創業の促進を図るための施策

県経済の活性化を図るためには、新たな需要を掘り起こす活力ある企業が数多く生まれることが重要です。このため、本県では、潜在的な創業希望者の掘り起こしや創業意欲を持った人材の育成、創業や創業後の安定した経営を実現するための創業計画の策定、資金調達の支援など創業の促進を図るための施策を展開しています。

平成29年度は新たに、資金の調達支援として、「新規創業資金」の保証料負担をゼロとする制度改正を行ったほか、創業希望者の掘り起こしとして、創業セミナーや創業塾の開催、首都圏等の移住創業希望者によるアイデアソンの開催、専門家を活用した創業計画の策定支援などに取り組みました。

### (1) 創業希望者の確保及び育成

#### ① 創業に関する意識の醸成

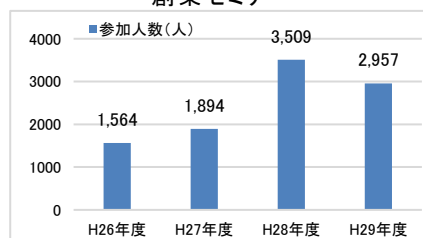
(創業セミナーや創業塾を開催し、年間2,957人が参加)

- 地域中小企業支援協議会、商工会議所、商工会を通じ、創業希望者や創業して間もない方を対象とした創業セミナー等を県内各地域で延べ118講座開催しました。

セミナーでは、創業に際しての心構えや事業計画の策定、創業支援制度などを学び、参加者からは、「1つのことに囚われず、幅広く目を向け、人がしていないことに挑戦することの必要性を感じた。」などの声がありました。



創業セミナー



創業セミナー等の参加人数

(創業を志す女性や創業間もない女性を対象に創業相談会等を開催)

- 県内4地域の地域中小企業支援協議会において、女性向け創業相談会を開催し、女性が相談しやすいよう、女性の中小企業診断士等専門家が、創業にあたって直面する様々な課題について相談に応じました。



女性向け創業相談会

女性創業相談会(4地域×12回)

地域	北九州	福岡	筑後	筑豊
参加数(延べ)	23人	39人	21人	36人

## ② 地域における創業支援の促進

### (4 地域の地域中小企業支援協議会が、地域ぐるみで創業を支援)

- 地域の実状に即した創業支援の取組みを促すため、地域中小企業支援協議会が市町村、商工会議所、商工会職員を対象に創業支援のスキルアップのための研修（年2回）を4地域で実施しました。
- また、地域中小企業支援協議会の支援を通じ、県内44の市町村が地域での創業の魅力を県内外に発信する「創業支援プログラム」を作成しました。
- 福岡県ベンチャービジネス支援協議会、地域中小企業支援協議会、日本政策金融公庫と連携し、地域での創業を促進するため、創業希望者が地域の資源活用や地域の課題解決をテーマにビジネスプランを競う「福岡よかこビジネスプランコンテスト」を開催しました。県内外から53件の応募があり、最終選考進出者に対し、専門家や地域の支援機関から創業の実現に向けたアドバイスや創業支援の情報提供などを行いました。

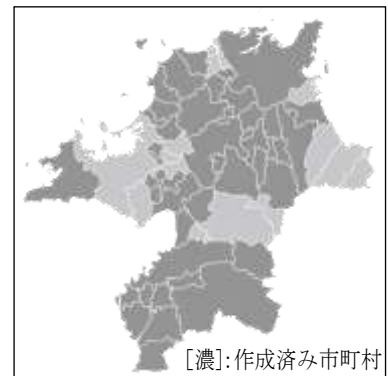
#### スキルアップ研修

##### 第1回(基礎研修)

- ① 創業者が身につけるべき基本的知識、創業支援の流れ、官民の支援施策の説明
- ② 創業支援に豊富な経験を有する専門家による講義 など

##### 第2回(実践研修)

- ① 地域の創業支援事例発表及びディスカッション
- ② 官民の支援施策をうまく活用している創業の実例についての講義
- ③ 構成機関同士が連携を深めるためのディスカッション など



[濃]:作成済み市町村

創業支援プログラム作成市町村

#### 福岡よかこビジネスプランコンテスト 応募者数・創業状況実績

		H27	H28	H29
応募者数		27	59	53
	うち県外	11	18	11
創業状況	創業済	2	11	H30.12 調査予定
	創業予定有	2	10	

## ③ 首都圏等からの県内創業者の発掘

### (地域資源をテーマにアイデアソンを実施し、首都圏の移住創業希望者23人が参加)

- 首都圏在住者に福岡県への移住創業の魅力をSNSやWebサイトでPRしたほか、「地域発ビジネス」を展開する移住起業家によるトークセッションやうきは市、大川市、北九州市、柳川市の4市が地域の移住創業の魅力をPRするイベントを東京において開催しました。
- また、イベントに参加した創業希望者23人が地域資源をテーマとしたビジネスについてアイデアソンを開催しました。



アイデアソン(※)の様子

(※) 参加者がグループに分かれ特定のテーマについてアイデアを出し合い解決策を出すイベント

## (2) 創業者による事業計画策定の促進

### ① 事業計画の策定支援

#### (創業セミナーやワークショップ等の開催を通じ、創業計画策定を支援)

- 商工会議所、商工会と連携し開催した創業セミナーやワークショップを通じ、事業計画策定の重要性の理解促進を図りました。
- 商工会議所、商工会の経営指導員、中小企業診断士や税理士などの専門家を通じ、創業計画策定を支援しました。
- 中小・ベンチャー企業がビジネスパートナーに向けてビジネスプランを発表する「フクオカベンチャーマーケット」を開催するとともに、登壇企業を対象にコーディネーターがプランのブラッシュアップ支援を行いました。
- 福岡県ベンチャービジネス支援協議会のビジネスコーディネーター及び地域の支援機関が「福岡よかこビジネスプランコンテスト」の一次審査通過者 20 人のうち希望者 19 人に対して、ビジネスプランのブラッシュアップを行うワークショップを開催し、アドバイスを行いました。



「フクオカベンチャーマーケット」

「フクオカベンチャーマーケット」実績  
(H29 年度)

開催回数	12 回
登壇企業	延べ 76 社
商談企業	71 社(93%)
商談成立	14 社(18%)



福岡よかこビジネスプランコンテスト

## (3) 創業に必要な資金の円滑な供給

### ① 資金調達の支援

#### (「新規創業資金」の保証料負担をゼロとし、113 件、約 5.2 億円の低利の融資を実施)

- 県内創業者の資金繰りを支援するため、制度融資「新規創業資金」により、低利の融資を行いました。中小企業の保証料負担をゼロとしたことで、平成 28 年度の 35 件、約 1.5 億円に対し、平成 29 年度は 113 件、約 5.2 億円と実績が大幅に増加しました。
- また、「フクオカベンチャーマーケット」を開催し、中小・ベンチャー企業と金融機関や投資家とのマッチングの場を提供し、必要な資金調達を支援しました。

新規創業資金概要(H29 年度)

融資対象	新規創業する個人又は会社(創業後1年未満の者を含む)	
	シニア創業型	55 歳以上の者
	支援創業型	認定特定創業支援事業による支援を受けた者
限度額	1,500 万円以内	
	シニア創業型	500 万円以内
	支援創業型	1,500 万円以内
年率	1.30%	
	シニア創業型	1.20%
	支援創業型	

#### (4) その他創業の促進を図るために必要な施策

##### (第3回九州・山口ベンチャーマーケットを開催し 56社が出展)

○ 九州・山口各県、経済団体と連携し、各県のベンチャー企業や大学と、国内外の投資家やビジネスパートナーが集うビジネスマッチングイベント「九州・山口ベンチャーマーケット」を開催しました。

九州・山口の企業 56 社による新技術・新商品の展示や各県代表企業 9 社によるビジネスプラン発表会「九州・山口ベンチャーアワード」、大学の特許シーズの活用など産学連携に向けた、九州・山口の 6 大学による新技術説明会・技術展示を実施しました。



第3回九州・山口ベンチャーアワード

##### 参加団体数

新技術・新商品の展示	56 社
ビジネスプラン発表	9 社
新技術説明会・技術展示	6 大学

##### (インキュベーションルームの提供等により、成長産業に取り組むベンチャー企業を支援)

○ (公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(株)久留米リサーチ・パーク等において、インキュベーションルームや研究開発環境の提供、入居するベンチャー企業の交流会開催などを通じ、ベンチャー企業の創出、育成に取り組みました。

##### 提供施設

(公財)福岡県産業・科学技術振興財団	
ロボット・システム開発センター	49 室
社会システム実証センター	21 室
三次元半導体研究センター	3 室
Ruby・コンテンツ産業振興センター	15 室
(株)久留米リサーチ・パーク	
バイオインキュベーションセンター	17 室
研究開発棟	34 室
バイオファクトリー	15 室
飯塚研究開発センター	37 室
計	191 室

(平成 29 年度末入居率 85%)



バイオインキュベーションセンター



ベンチャー企業の交流会の様子

**(小規模創業者の事業拡大や新事業展開を促進)**

- 創業間もない事業者等で構成する「創業+応援くらぶ FUKUOKA」において総会を開催し、資金繰りや広報に関する講演を行いました。

このほか、「創業+応援くらぶ FUKUOKA」を通じて、異業種との交流による新商品・サービスのビジネスアイデアを創出するワークショップや、事業計画を見直すワークショップを開催しました。

**講演の内容(参加者 37人)**

1部:「借入は減らすな! ~10年後を見据えた資金繰りと経理の基礎知識~」  
 2部:「いますぐ取り入れたい広報・PRの基礎~攻めと守りを考える戦略的な広報コミュニケーション・ベーシックセミナー~」

**ワークショップの内容**

- ・ **みんなで探すビジネスアイデア! ワークショップ(参加者延べ 21人)**  
 「コラボレーションとは」  
 「経営資源の棚卸し」  
 「コラボレーション演習」 など
- ・ **事業計画見直しワークショップ(参加者延べ 29人)**  
 「事業計画の整理・見直しの基本的な考え方」  
 「資金計画・資金繰りの見直し」  
 「人材確保・人材配置の見直し」  
 「商品開発・販路の見直し」

**(創業間もない企業の優れた新商品を認定し、県ホームページ等で PR)**

- 「福岡県新商品生産による新事業分野開拓者認定制度」により認定した、創業間もない企業等が生産する優れた新商品 54 件 (平成 29 年度末) を県ホームページ等で広く PR するなど販路の開拓を支援しました。

**「福岡県新商品生産による新事業分野開拓者認定制度」認定商品の例**

	
高性能ソーラーライ ト「ストックシリーズ」	ペンがしっかりもてない人の為の筆記具 保持用補助具



【目標指標の進捗】

指標	目標値 (平成 30 年度)	当初値	平成 29 年度 実績	進捗状況
創業セミナー、 創業塾の参加 人数	2,200 人 (単年度実績)	1,564 人 (平成 26 年度)	2,957 人	県内全市町村において、平成 27 年 5 月までに産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画が策定され、県内全域で創業セミナー等が積極的に開催されたことにより、2,957 人と目標値 2,200 人を上回る。
開業数	7,500 件 (単年度実績)	4,793 件 (平成 25 年度)	6,129 件	当初値に比べ 1,336 件の増加。 県内の全市町村が創業支援事業計画を策定し、創業支援に取り組んだことにより、開業数は着実に増加している。引き続きセミナー等を積極的に開催し創業に関する意識を醸成するとともに、県内 4 地域に設置した地域中小企業支援協議会において、きめ細かく支援を行っていくことにより開業数のさらなる増加を図る。

## 2. 中小企業者の経営基盤の強化の促進を図るための施策

本県では、中小企業の経営の改善、安定を図っていくため、経営状況やマーケット等の変化を見据えた事業計画策定の支援、事業活動に必要な人材確保の支援、企業ニーズに応じた職業能力開発などの人材育成支援、事業活動に必要な資金調達の支援、新たな販路開拓の支援、地域において雇用や技術・ノウハウが維持されるよう後継者の確保及び円滑な事業承継の支援など、経営基盤の強化の促進を図るための施策を展開しています。

平成29年度は新たに、人材確保の支援として、UIJターン就職支援協定締結大学での説明会や、安心して働ける労働環境整備の促進として、「働き方改革アドバイザー」を派遣したほか、県内4地域に設置した地域中小企業支援協議会による事業計画の策定支援や、事業承継支援として、専門家派遣や引継ぎ希望者とのマッチング支援などに取り組みました。

### (1) 経営基盤強化に係る計画策定の促進

#### ① 事業計画の策定支援

##### (専門家を活用し、延べ471社の計画策定を支援)

- 金融機関と信用保証協会で構成する中小企業経営改善・金融サポート会議（ふくおかサポート会議）を通じ、経営改善が必要な中小企業に対し、中小企業診断士や税理士等の専門家を活用して延べ471社の経営改善計画の策定・実行を支援しました。
- 商工会議所、商工会では、経営指導員による巡回指導や窓口相談、中小企業診断士や税理士などの専門家の派遣（128回）により、事業計画策定を支援しました。



経営指導員による窓口相談

## (地域中小企業支援協議会によるセミナー等により計画策定を支援)

- 地域中小企業支援協議会、商工会議所、商工会を通じ、事業計画作成の重要性を理解し、習得できる経営計画作成セミナー等を78回開催し、延べ1,023人を支援しました。

参加者からは、「自社の経営課題の発見や方向性を見直しを行う機会になった。」などの声がありました。また、参加者の中には、事業計画を作成したことにより、取り扱い品目を増やし、新規顧客を獲得した方もいました。

- また、地域中小企業支援協議会の構成機関が連携し、中小企業が売上向上や収益改善を図れるよう、事業計画の策定とその着実な実行を支援しました。



地域中小企業支援協議会による  
事業計画作成支援

経営計画作成セミナー等開催実績

年度	回数	延べ参加人数
H27	59	764人
H28	62	639人
H29	78	1,023人
計	199	2,426人

## (2) 事業活動を担う人材の確保及び育成

### ① 県内中小企業の魅力の発信

(交流会やセミナーの開催、「福岡県ものづくりモノ語り100」広報パネルによる大学等での魅力発信)

- 学生・生徒の地元企業への就職を促進するため、若者しごとサポートセンターを通じ、大学生、短大生、専修学校生や高校1・2年生を対象に地元企業の経営者が講師として学校に出向いて地元企業の魅力を伝える出張授業等を実施しました。
- また、県内の大学・短期大学・専修学校等の就職指導担当者や高校教員を対象とした、地元企業との情報交換会を開催しました。
- このほか、生徒の職業観や就労観の醸成を図るために、県内の中学校において、職場体験を実施しました。
- 県内8か所の理工系大学や高専で、県内中小企業のものづくりにおける挑戦や失敗、新たな事業展開や人材育成の取組みなどをまとめた冊子「福岡県ものづくりモノ語り100」の掲載企業を紹介するパネルを、学生向けに展示を行い、学生が県内ものづくり中小企業を知る機会を作りました。

高校生、大学生等と企業の交流(H29年度)

	参加企業数	参加生徒学校数
高校生への地元企業PR	33社	1,375人
大学生等への地元企業PR	43社	369人
高校教員と地元企業の情報交換	215社	145校
大学等と地元企業の情報交換	78社	58校
計	369社	1,744人 203校

中学校における職場体験の実施率

年度	実施率
H27年度	95.6%
H28年度	96.1%
H29年度	99.0%

- また、県内高校生へ県内ものづくり企業 44 社のインターンシップ情報を提供し、ものづくり企業への関心を高めました。
- 自動車産業の開発を担う人材の地元定着のため、地元理工系大学生等を対象に、開発現場の見学や技術者との意見交換を行う現場交流会を行いました。



地元企業魅力発見授業の様子

## ② 企業と人材のマッチング支援

### (若者しごとサポートセンター等の支援で 11,141 人が就職)

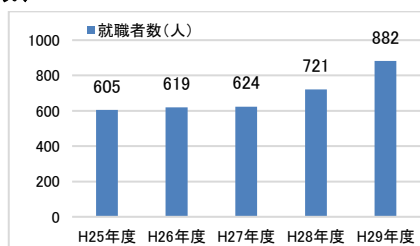
- 若者しごとサポートセンターでは、おおむね 29 歳までの求職者を対象に、個別就職相談に加え、合同会社面接会、就職応援フェア、学内での会社説明会等を開催しました。
- また、30 代チャレンジ応援センターでは、おおむね 30 歳～39 歳までの求職者を対象に、個別就職相談、合同会社説明会等を開催しました。
- さらに、中高年就職支援センターにおいて、おおむね 40 歳からの中高年求職者を対象とした個別就職相談や出前相談に加え、個別企業面接会や事業主向け個別相談を実施しました。
- 企業からは、「意欲ある多くの求職者に直接企業紹介できる良い機会となった。」などの声がありました。

若者しごとサポートセンター等の実績

	就職者数 (H29 年度)
若者しごとサポートセンター	7,390 人
30 代チャレンジ応援センター	620 人
中高年就職支援センター	3,131 人
計	11,141 人

### (子育て女性就職支援センターの支援で 882 人が就職)

- 県内 4 か所の子育て女性就職支援センターにおいて、個別相談や求人情報・保育情報の提供、就職支援セミナーの実施、求人開拓・就職斡旋などきめ細かな支援を実施しました。  
また、時間的制約の多い子育て女性の就職をより身近な地域で支援するため、県内 8 か所で合同会社説明会を開催しました。
- 引き続き、子育て女性に対するきめ細かな就職支援に取り組むとともに、開所 1 周年を迎えたウーマンワークカフェ北九州において、国や北九州市と連携しながら再就職やキャリアアップ、創業など女性の幅広いニーズに対応し、女性の活躍を応援します。



子育て女性就職支援センターの実績



ウーマンワークカフェ北九州  
1 周年記念イベント

## (仕事と子育ての両立を応援する企業と求職者のマッチングを支援)

- 仕事と子育ての両立を応援する企業と求職者のマッチングの場として、「子育て応援宣言企業合同会社説明会」を開催し、宣言企業 30 社が出展、109 人の参加がありました。説明会では、参加企業が自社の両立支援の取組等について説明した他、就職支援セミナーや子育て女性就職支援センターによる就職準備相談コーナーの設置など、学生や子育て女性など求職者の就職を支援しました。



子育て応援宣言企業合同会社説明会

## (障害者就業・生活支援センター等の支援で 874 人が就職)

- 県内 13 か所に設置している障害者就業・生活支援センターにおいて、求職中及び在職中の障がいのある方を対象に、就業面及び生活面における一体的な支援を実施しました。
- 求職者と障がいのある方を雇用しようとする企業の面談会を開催しました。また、民間職業紹介事業者を活用して、企業と求職者のマッチングによる職業紹介を実施し、雇用の検討・準備の段階から、採用後の定着支援までの一貫した支援を実施しました。
- 県内で障がいのある方の雇用の促進に貢献している障がい者雇用優良事業所 3 社及び模範的な職業人として業績をあげている優秀勤労障がい者 5 人に対して知事表彰を行いました。
- 障がいのある方の雇用を促進するため、法定雇用率制度や助成金制度等を説明する雇用促進セミナー、県内特別支援学校の生徒が企業の人事担当者に向けて就職意欲や技能をアピールする「合同技能発表会」、企業と教職員の意見交換、ネットワークづくりのための交流会を開催し、延べ 466 団体・企業が参加しました。
- 企業の実状を踏まえ、障がい特性に応じた業務の切出しや職場環境の整備等を支援したことにより、初めて障がいのある方を雇用した企業がありました。また、定着率の向上や雇用数の拡大につながった企業もありました。

障害者就業・生活支援センター等の支援実績

	就職者数 (H29 年度)
障害者就業・生活支援センター	634 人
障害者雇用促進面談会	149 人
マッチングによる職業紹介	91 人
計	874 人



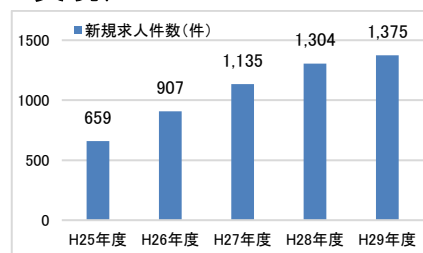
障がい者雇用優良事業所及び優秀勤労障がい者に対する知事表彰

障がいのある方の雇用促進の取組

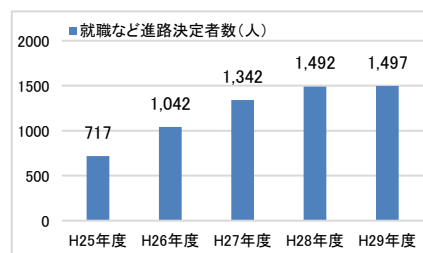
	参加数
雇用促進セミナー (県内4地区 各1回)	380 団体・企業
「合同技能発表会」・企業と教職員の交流会	86 団体・企業

## (70歳現役応援センターの支援で1,497人の就職等が実現)

- 70歳現役応援センターに6人のコーディネーターを配置し、企業訪問による552社1,375件の求人開拓、高齢者の相談に対応した多様な選択肢の提案、就業や社会参加のマッチング支援を実施し、1,497人の就職等が実現しました。
- マッチング支援により、接客・販売に従事されていた方が明るく元気な人柄を評価され、72歳でコンビニエンス・ストアに採用された例などもありました。
- また、九州・山口70歳現役社会推進協議会の取組みを発信し、気運の醸成を図ることを目的として「九州・山口70歳現役社会推進大会福岡県大会」を開催。当日は、480人の方が参加しました。



70歳現役応援センターによる  
新規求人開拓件数



70歳現役応援センターによる  
就職など進路決定者数

### ③ U I J ターン就職の促進

(九州・山口の企業へのインターンシップと東京での業界研究イベントを開催し、各県の魅力をPR)

- 九州・山口8県及び経済界が一体となって、東京圏等の若者人材の還流と地域定着の促進を図ることを目的に、九州・山口の企業へのインターンシップ、民間主催転職イベント(東京)への各県ブース出展及び業界研究イベントを実施しました。
- 九州・山口の企業へのインターンシップでは42社の企業(うち県内企業16社)、59人の学生(うち県内企業へのインターンシップ19人)が参加し、参加学生の7割がアンケートで「九州・山口へのU I J ターン、就職に対する興味が非常に高くなった/高くなった」と回答しました。
- 民間主催の転職イベント(東京)に、主に40歳未満の転職希望者を対象とした九州・山口各県のブースを出展し、287人がブースを訪問しました。
- また、業界研究イベントとして「九州・山口業界研究Week!」、「九州・山口しごとフェスタ」を東京において開催し、延べ151の企業・団体が出展し、延べ354人が参加しました。企業による業界説明会では、自社だけでなく業界全体



インターンシップ実習風景



業界研究イベント

の魅力や仕事のやりがいについて説明があったほか、就職や移住定住などの総合相談会も併せて実施し、参加者からは、「都内で地元の企業を知ることができた」「Uターン就職情報を得られてよかった」といった声や、参加企業からは、「東京で会社をPRする貴重な機会となった」「九州・山口出身の学生に会うことができた」といった声がありました。

#### （関西在住者に対し、移住・就職情報を発信）

- 関西地区に在住の既卒者に対するU I Jターン就職促進のため、民間事業者が実施する転職イベントに福岡県ブースを出展し、移住・定住及び福岡県での就職活動に係る情報発信を行いました。平成29年9月及び平成30年1月に出席し、合計258名の方が福岡県ブースに来訪されました。



福岡県ブースの様子

#### （U I Jターン就職支援協定締結大学にて学内企業説明会、業界研究会等を実施）

- 本県へのU I Jターン促進を図るために、U I Jターン就職支援協定を締結している東京圏及び近畿圏の大学(29年度末で41校と締結)と連携し、学内企業説明会を4回、業界研究会・座談会を7回実施しました。
- また、協定締結大学が実施する学生向けU I Jターン就職相談会や保護者向け相談会に若者しごとサポートセンターのアドバイザーを47回派遣しました。



締結大学での座談会の様子

#### ④ 従業員の技能向上支援

##### （従業員、求職者の中小企業の即戦力となる技能習得を支援）

- 企業内の人材育成を図るため、機械加工やプラスチック成形などの技能検定試験を前期後期の年2回実施しました(5,083人受検)。また、認定職業訓練を実施している中小企業事業主の団体等に対して、運営費や施設設備費の一部を助成しました(13団体)。

認定職業訓練の実施団体からは、「従業員の技能向上や、人材の確保に役立っている。」などの声がありました。



高等技術専門学校における訓練の様子

- 求職者の技能習得を図るため、高等技術専門学校（7校）及び障害者職業能力開発校において施設内訓練や民間教育訓練機関等を活用した委託訓練を実施し、合計 281 コース・延べ 4,939 人が受講しました。

職業訓練生を採用した企業からは、「取得している豊富な資格や姿勢、態度など社会人としてよく鍛えられている。」「戦力として十分活躍しており、顧客からも非常に高い評価を得ている。」などの声がありました。



高等技術専門学校における訓練の様子

### （変化する社会のニーズに対応する知識・技術の取得を支援）

- 商工会議所、商工会において、中小企業の従業員を育成するため、「新任管理職セミナー」などの講座を計 37 回開催しました。

延べ 1,228 人が受講し、「ほめ方、叱り方、一番知りたかったことを学ぶことができた。」などの声がありました。



新任管理職セミナー

### （施設や設備に関する知識・技術の取得を支援）

- 省エネルギーに関する知識や技術の習得を支援するため、設備の運用改善手法や優良な省エネ事例の紹介を行うセミナー等を 16 回開催しました。

また、国の補助制度の活用を促進するための説明会や相談会を実施し、延べ 761 人が受講しました。



省エネ・節電講座

- 多様化する住宅建設技術、新制度や法改正など住宅関連事業者に求められる技術や知識を習得できる中古住宅の流通、住宅のリフォームに関するセミナー等を 4 回開催し、延べ 344 人が受講しました。

- 再生可能エネルギーの導入や導入済み設備のメンテナンス等を検討している県内の民間事業者等に専門家を派遣し、技術的な助言・指導等を行いました。

2 件の申請に対し、専門家を派遣し、派遣先の企業からは、「再生可能エネルギー導入に関して、今後取り組むべき事が具体的に把握できた。」などの声がありました。



住宅関連事業の研修



- 太陽光発電施設の適切なメンテナンスを確実にできる地域の人材を育成するため、関係事業者向けの実地講座を実施しました。

22人が受講し、「こうした講座は非常に有意義であり、今後の参考になった。」などの声が寄せられました。



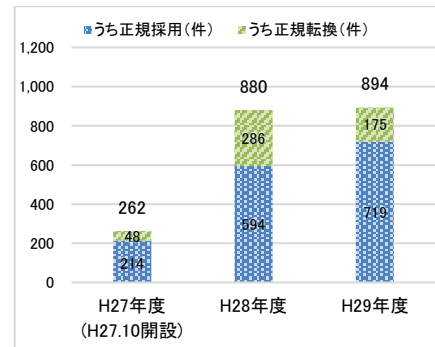
メンテナンス実地講座

## ⑤ 安心して働ける労働環境整備の促進

### (正規雇用促進企業支援センターの支援で894人の正規雇用が実現)

- 正規雇用の拡大を図るため、正規雇用促進企業支援センターを通じ、508社に対し助言や指導を行い、894人の正規雇用を実現しました。

また、人材確保支援セミナー、人材定着支援セミナー、採用力向上セミナーを開催し、延べ506人が参加しました。参加者からは、「採用活動でのSNSやホームページの必要性がよくわかった。人材確保のためには新しい考え方が必要だと感じた。」などの声がありました。



正規雇用促進企業支援センターの助言や指導により実現した正規雇用

### (企業における働き方改革を推進)

- 「働き方改革推進大会」を開催し、定員を上回る569名の参加があり、働き方改革に前向きな意見が多く寄せられました。

- 雇用管理改善企業・職場表彰(よか・ろう・もん表彰)では、長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進、柔軟な働き方の推進など雇用管理改善に取り組む企業、5社を表彰しました。

(「よか」=良か、余暇 「ろう」=労働 「もん」=者、経営者(社))

- 企業の具体的な取組を支援するため、「働き方改革アドバイザー」を101社の企業に派遣し、個別相談を実施しました。

- 働き方改革の進め方など様々な具体的事例を集めた「働き方改革のためのガイドブック」を作成しました。



働き方改革推進大会



働き方改革のためのガイドブック

## (若手社員等を対象としてコミュニケーション推進研修を実施)

- 職場における円滑なコミュニケーションにより若手社員の離職防止を図るため、県内企業の若手社員、その指導者（上司・先輩）、メンター（助言役・相談役）を対象として、コミュニケーション推進研修を実施しました。
- 研修は平成29年7月から平成30年2月まで16回実施し、若手社員242人、指導者150人、メンター98人の計490人が受講しました。



若手社員研修

## (女性の登用、男性の育児参加を促進)

- 中小企業の経営者や人事労務担当者向けに、女性の活躍推進に向けて取り組む上で参考となる情報をまとめた「中小企業のためのよくわかる女性活躍支援の手引き」を配布しました。
- 将来のリーダーとなりうる女性人材を育成するため、「ふくおか女性いきいき塾」(10回)及び「女性トップリーダー育成研修」(宿泊研修(2泊3日)、フォローアップ研修(日帰り))を開催しました。



中小企業のための  
よくわかる女性活躍支援の手引き

また、企業等に勤務する若手女性のキャリアアップに対する不安を払拭し、意欲を高めるセミナーを県内4か所で開催し、延べ47人が参加しました。

- 企業や団体が女性従業員の活躍を進めるために実施する研修会に、福岡県男女共同参画センター「あすばる」のホームページに掲載しているロールモデルや女性活躍推進に力をいれている企業の経営者などを講師として31件派遣しました。
- 人材不足や従業員の早期離職、長時間労働などの悩みを抱える中小企業に実務専門家(社会保険労務士等)を延べ14件派遣し、女性の活躍推進の観点から、課題の把握、対策の提案などの取組支援を行いました。
- 育児休業中の女性の円滑な職場復帰を支援するため、セミナー(講座、保育所見学、交流会)を県内6か所で開催し、45人が参加しました。参加者からは、「周囲は仕事をやめたりキャリアアップを諦めたりする人も多いが、セミナーで勇気づけられた」「保育園に預けて働く



働き女子のための  
キャリアデザインセミナー



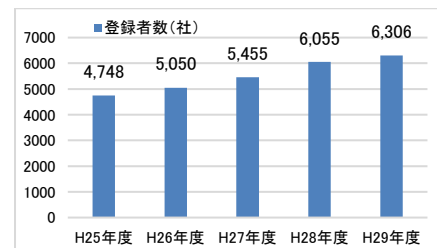
仕事と子育て両立応援セミナー

ことへの不安感、抵抗感が軽減された」等の声がありました。

- 県の競争入札参加資格審査において、企業自らが女性の管理職比率等の将来目標を定め、積極的に取り組むことを評価し、加点の対象としています。
- 「子育て応援宣言企業」のホームページでの紹介、経済団体等と連携した登録への働きかけ、未宣言企業に対する直接訪問による登録推奨などにより、「子育て応援宣言企業」の登録を6,055社から6,306社に拡大しました。
- 仕事と子育ての両立支援の取組が特に優秀な企業に対して行う「子育て応援宣言企業・事業所知事表彰」において、表彰企業5社のうち1社を「男性の育児参加促進企業」として表彰しました。

### （仕事と介護の両立を支援）

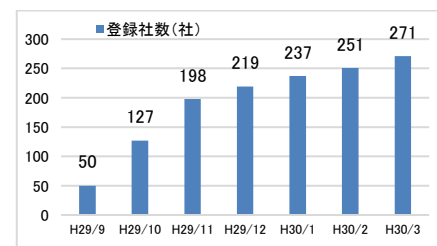
- 誰もが気兼ねなく介護休業などを取得できる職場づくりを促進するため、平成29年9月に「介護応援宣言企業」登録制度を創設しました。「介護応援宣言企業」ホームページでの紹介、経済団体等と連携した登録への働きかけ、未宣言企業に対する直接訪問による登録推奨などにより、「介護応援宣言企業」の登録は271社に拡大しました。



子育て応援宣言企業登録数実績(累計)



子育て応援宣言企業・事業所知事表彰



介護応援宣言企業登録数実績(累計)



介護応援宣言登録第1号企業  
「エフコープ生活協同組合」

### (企業の健康づくりの取組を促進)

- 中小事業所を対象に、経営者等が集まる場における職場での健康づくりの必要性についての講話(29回)や、健康職場づくりアドバイザーの派遣による健診受診勧奨や健康教育、生活習慣改善指導等の実施(81事業所に129回派遣)など、自主的な健康づくりに継続的に取り組めるように支援しました。
- また、従業員の健康づくりに取り組む際の参考となるよう、「健康職場づくり実践ガイドブック」、「健康職場づくりアドバイザー派遣事例集」を作成し、中小事業所等に配布しました。



健康職場づくりアドバイザー派遣事例集

### (従業員のがん検診受診を促進)

- 従業員やその家族に対するがん検診の普及啓発や受診勧奨に取り組む事業所の登録を進め、登録事業所数は2,932事業所(平成28年度末)から3,220事業所(平成29年度末)に拡大しました。登録事業所名を県のホームページに掲載するとともに、がんに関する情報や啓発グッズを提供するなど、がん検診の啓発を行いました。
- また、「働く世代をがんから守る事業所フォーラム」を開催し、「がんの治療と就労継続」についての基調講演やがん経験者によるトークショー、がん検診の受診率向上のため優れた取組を行った13事業所に対する知事表彰を行いました。フォーラムには262人が参加し、フォーラム参加者からは、「がんになっても、治療費の確保や生きがいのために就労を続けることが大切だということがわかりました。」などの声がありました。



福岡県がん検診よか取り組み事業所知事表彰

### (3) 事業活動に必要な資金の円滑な供給

#### ① 資金調達の支援

(「長期経営安定資金」で 3,106 件、約 321 億円の資金調達を支援)

- 県内中小企業者の事業運営や設備投資における資金繰りを支援するため、制度融資「長期経営安定資金」により 3,106 件、約 321 億円の低利の融資を行いました。
- 再生可能エネルギーや省エネルギー設備を導入・整備する県内中小企業者を対象に、4 件約 5 千万円の低利融資を実行しました。

長期経営安定資金概要(H29 年度)

融資対象	県内に事業所を有し、現に事業を営む中小企業者等
使途	運転資金、設備資金
限度額	1億円以内
年率	5年以内:1.50% 5年超 :1.80%(設備資金:1.60%)
期間	10年以内(据置2年以内)
保証料率	0.25%~1.77%

### (4) 情報通信技術、商談会等を活用した販路開拓の促進

#### ① インターネット活用による販路開拓支援

(「フクオカビジネスマッチングサイト」で企業とのマッチングを支援)

- (公財)福岡県中小企業振興センターにおいて、受発注企業情報を掲載した B to B サイト「フクオカビジネスマッチングサイト」により、インターネットを活用した企業間取引を促進しました。

登録企業 2,895 社(平成 29 年度末現在)のデータを日々更新し、企業とのマッチングを支援しました。

- また、SNS を中心とするインターネットの効率的な活用につなげるため、自社の強みや顧客ターゲット等の分析とその手法を学び実践する研修会(5 回開催、29 名参加)を実施しました。
- さらに、安全・安心、低コストで出店できるインターネット通販サイト「よかもん市場」(出店数 104 店、商品アイテム数 1,275 品)の運営により、中小企業の販路開拓を支援するとともに、県内 IT 企業と連携したワークショップの開催(78 名参加)や個別訪問指導(24 社)により、中小企業者のニーズに応じたネット通販の導入の支援に取り組みました。



フクオカビジネスマッチングサイト



よかもん市場

## ② 商談会等の活用による販路開拓支援

### (4 地域の地域中小企業支援協議会が合同商談会を開催し、107 件の商談が成約)

- 地域中小企業支援協議会では、県内中小企業の販路開拓のため、4 協議会合同で物産展・商談会を開催し、商談会では 107 件の商談が成約しました。
- 商工会議所、商工会、(公財)福岡県中小企業振興センターと連携し、県内外のメーカーや商社等の発注企業を招聘した商談会、企業集積地での展示商談会など、県内中小企業に受注機会を提供するための展示会・商談会を開催しました。
- このほか、県内中小企業の技術・製品の PR、ビジネスマッチングの支援のため、展示会や商談会への出展費用の一部助成など出展支援を行いました。
- 県が発注する公共工事及び県の物品調達において、認定されたリサイクル製品を全庁的に率先して利用、調達するよう取り組みました。また、県ホームページやパンフレット等で認定したリサイクル製品を紹介し、市町村や事業者等における利用を促進しました。

地域中小企業支援協議会  
合同物産展・商談会

会場	参加事業者数
物産展	42 業者
商談会	97 業者

開催した主な展示会・商談会

	参加企業数
九州自動車部品現調化促進商談会	50 社
九州新技術・新工法展示商談会	53 社
九州自動車電子電装部品・技術提案商談会	31 社
エコテクノ 2017 エネルギー先端技術展	73 社

出展支援の例



食品開発展 2017

(東京ビックサイト、来場者 41,001 人)



福岡県県産認定リサイクル製品例

### ③ ビジネスマッチングの促進

(取引条件の合う企業を相互に紹介し、159件、約4億8千万円の取引が成立)

- (公財)福岡県中小企業振興センターにおいて、県内外の企業1,269社を訪問するなどして受・発注情報の開拓を行い、それぞれの取引内容にあった企業の紹介あっせんを2,221件行い159件4億8千万円の取引が成立しました。
- 地元自動車関連企業の取引拡大を図るため、自動車産業アドバイザーによるマッチング支援を行い、支援企業の取引が38件成立しました。
- また、自動車部品に占める割合が高まっている電子・電装分野への地元企業の参入促進や取引拡大を図るため、中京地区と福岡地区に各1人を配置しているカーエレクトロモーターによる大手部品メーカーの発注情報の収集や地元企業の発掘、参入のための助言などマッチング支援を行いました。



福岡市受注促進商談会



九州自動車電子電装部品・技術提案商談会

## (5) 事業承継の円滑化の促進

### ① 事業承継に関する意識の醸成

(事業承継の早期取組を促すセミナー等を開催し、95人が参加)

- 商工会議所、商工会において、経営指導員の巡回指導や窓口相談により、経営者の事業承継に対する意識の醸成を図りました。
- また、事業承継の重要性などの理解を促す後継者育成セミナー等を6回開催し、延べ95人が参加しました。

参加者からは、「事業承継の準備には時間がかかり、後継者と現経営者がしっかり対話をする必要があると理解できた。」などの声がありました。

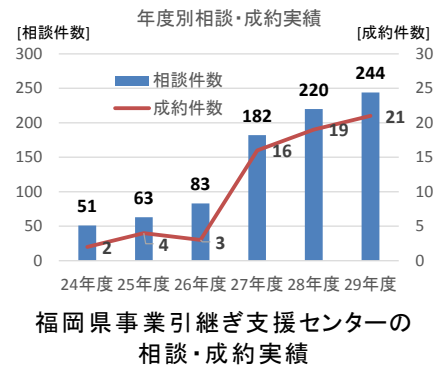


事業承継セミナー

## ② 円滑な事業承継等の実行支援

### (事業承継の課題解決に向けたアドバイスを実施)

- 商工会議所、商工会の経営指導員による巡回指導、商工会議所、商工会、(公財)福岡県中小企業振興センターを通じた中小企業診断士や税理士などの専門家の派遣により、中小企業の事業承継の課題解決に向けてアドバイスを行うとともに、福岡商工会議所が国から受託して設置している「福岡県事業引継ぎ支援センター」へ必要に応じて引継ぐなど連携を図り、円滑な事業承継を支援しました。
- 福岡県事業引継ぎ支援センターでは、事業承継に関する相談に応じるとともに、譲渡希望者と引継ぎ希望者のマッチング等を行い、21件の事業譲渡契約が成約しました。



## (6) その他経営基盤の強化の促進を図るために必要な施策

### (経営指導員による巡回指導や専門家の派遣により経営全般にわたり支援)

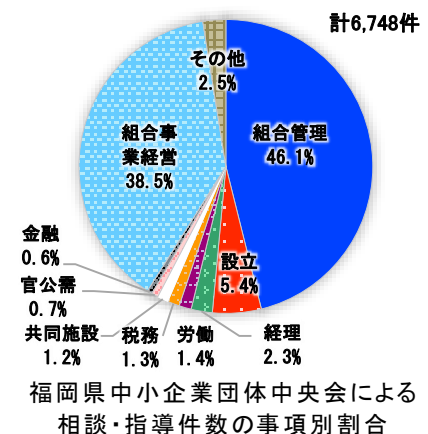
- 商工会議所、商工会において、経営指導員による巡回指導や窓口相談、専門家派遣による金融、税務、労務、社会保険、経営・技術の改善、事業承継等の経営全般にわたる支援を行いました。  
支援の一例として、商品の陳列やパッケージデザインの相談に対し、課題を洗い出し、改善方法のアドバイスやデザインの提案を実施するなどの助言を行いました。



専門家派遣による経営相談

### (中小企業の組織化及びその組織の相談指導等を支援)

- 福岡県中小企業団体中央会において、中小企業組合等の相談指導等の支援(6,748件)を行いました。また、組合の設立など中小企業の組織化を支援し、26件の組合が県知事認可により新規設立しました。





**(工場や店舗等の集団化、共同化事業などを行う組合等を支援)**

- 工場や店舗等の集団化、共同化事業などを行う組合等に対して中小企業基盤整備機構と一体となって助言及び資金面からの支援を行い、経営の合理化を図るための共同事業場の整備等へ3件の資金貸付及び15件の経営診断業務を実施しました。



集団化事業(施設再整備)

**(売上の向上や収益改善を図れるよう、事業計画の着実な実行を支援)**

- 中小企業が売上の向上や収益改善を図れるよう、商工会議所、商工会の経営指導員が中心となって事業計画の着実な実行を支援しました。また、地域中小企業支援協議会では、構成員が連携して、販路開拓、技術開発などを総合的に支援しました。



地域中小企業支援協議会による販路開拓支援(物産展への出展)

**(福岡先端ものづくりカイゼン促進・雇用創造地域協議会において、人材育成・人材確保を支援)**

- 福岡先端ものづくりカイゼン促進・雇用創造地域協議会において、福岡先端ものづくりカイゼン促進・雇用創造プロジェクト参加企業における従業員の人材育成を支援しました。

企業が自ら実施する研修等の人材育成の取組に対する助成や、従業員をメーカー等に派遣して行う研修経費の支援などを実施し、72社、339人の人材育成を支援しました。

- また、プロジェクト参加企業が求職者を新規に雇用し、OJT等により実施する人材育成を支援し、108社、159人の人材育成を支援しました。
- さらに、北九州市、福岡市で合同会社説明会・面談会を開催し、求人企業63社、求職者162人が参加し、14人の就職が決まりました。

また、企業の作業現場などが分かるPR動画を会社説明会場で上映し、業務内容に対する理解を深めてもらいました。

福岡先端ものづくり企業  
合同会社説明会・面談会

	北九州 会場	福岡 会場	計
参加 企業数	33社	30社	63社
来場 者数	74人	88人	162人
就職決 定者数	3人	11人	14人

【目標指標の進捗】

指標	目標値 (平成30年度)	当初値 (平成26年度)	平成29年度 実績	進捗状況
経営改善・金融サポート会議の支援により経営改善計画を策定した企業数	700社 (累計値)	274社	471社	当初値から197社の増加。景気回復により中小企業の業況は改善傾向にあり相談件数は減少傾向にあるものの、引き続き、経営改善が必要で、かつその意欲のある企業を支援するため、サポート会議の積極的な周知に努める。
県の支援により域外への販路開拓のための展示会や商談会に出展する企業数	1,000社 (単年度実績)	742社	1,026社	地域中小企業支援協議会の各構成機関が販路開拓に意欲的な企業の掘り起こしを行ったことにより、1,026社と目標値1,000社を上回る。
若者しごとサポートセンター、30代チャレンジ応援センターによる就職者数のうち、正規雇用者の割合	80% (単年度実績)	74%	89%	雇用情勢の着実な改善や、若者しごとサポートセンター、30代チャレンジ応援センターと正規雇用促進企業支援センターの連携した就職支援により、89%と目標値80%を上回る。
公共職業訓練受講者の就職率(施設内訓練) (※ 修了3か月後)	90% (単年度実績)	87%	87%	目標値90%に対し87%。直接企業へ出向くほか、商工関係団体へ求人呼びかけを行い、独自求人開拓を進めるとともに、個人面談のほか企業現場見学を行い、訓練生の希望とのマッチングを図っていく。

### 3. 中小企業者の新たな事業展開の促進を図るための施策

本県では、中小企業の成長発展に向けた新たな挑戦を支援するため、市場ニーズや収益の見通しなど客観的な分析に基づいた事業計画策定の支援、事業展開を支える人材の確保・育成の支援、中小企業単独では困難な技術の開発や研究等の支援、新規性に富んだアイデアや技術の事業化に向けた取組の支援、海外進出や海外販路の開拓の支援など新たな事業展開の促進を図るための施策を展開しています。

平成 29 年度は新たに、IoT など成長産業への参入促進として、試作開発機器の提供や、売れる新商品・新サービスづくりの支援として、消費者ニーズを捉えたマーケティングセミナーを開催したほか、経営革新計画の立案から計画承認後のフォローアップまで一貫した指導、グローバル展開を支える人材確保の支援などに取り組みました。

#### (1) 新たな事業展開に係る計画策定の促進

##### ① 事業計画の策定支援

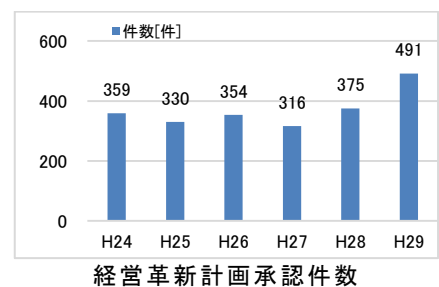
**(経営革新計画の立案から計画承認後のフォローアップまで一貫支援し、計画策定企業の 59%の売上が向上)**

- 県が県内 4 地域の地域中小企業支援協議会に配置している「経営革新計画策定指導員」が、実効性のある経営革新計画の作成からその実行までを商工会議所、商工会の経営指導員と連携してきめ細かく支援しました。

策定支援及び実行支援により、平成 29 年度の計画承認件数は 491 件、平成 29 年度に経営革新計画が終了した企業 254 社のうち 151 社の売上が向上しました。

- また、福岡県中小企業団体中央会、(公財)福岡県中小企業振興センターを通じ、農商工連携や地域資源活用、異分野の中小企業が互いの強みを活かした連携について支援しました。

事業計画の作成支援により、地域産業資源活用事業計画等 10 件が新たに国から認定されました。また、商品開発や販路開拓などについて、「農商工連携アドバイザー」が 82 社を総合的に支援しました。



経営革新計画終了時の売上状況(内訳)

地域	計画終了企業数	うち売上が上がった企業数	売上が上がった割合(%)
福岡	120	77	64.2%
久留米	79	44	55.7%
北九州	29	16	55.2%
飯塚	26	14	53.8%
計	254	151	59.4%

地域産業資源活用事業計画等 国による認定件数(H29年度)

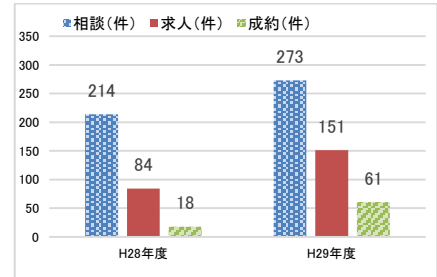
計画名	認定数
地域産業資源活用事業	4
新連携	4
農商工連携	2
計	10

## (2) 新たな事業活動を担う人材の確保及び育成

### ① 人材確保の支援

#### (福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点によるプロフェッショナル人材確保の支援)

- ものづくりをはじめとする県内中堅・中小企業等のさらなる成長に向けて、新たな事業展開に必要な技術開発、販路開拓、海外展開などに精通した即戦力人材（プロフェッショナル人材）の確保を支援しました。
- 福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点（事務局：福岡県）のマネージャーが中堅・中小企業のプロフェッショナル人材ニーズの掘り起こしからマッチングまでを総合的に支援し、企業から 273 件の相談を受け、61 件の人材確保に結びつきました。
- また拠点における支援内容を広く紹介し、プロフェッショナル人材活用による事業展開への機運を醸成するセミナーを 3 回開催しました。セミナーには延べ 429 人が参加し、早速、本支援制度の活用を申し出た企業がありました。



プロフェッショナル人材支援実績



福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点セミナー

#### (県内中小企業と留学生の相互理解の促進)

- 留学生の県内企業への就職を促進するため、福岡県と留学生サポートセンターが共同で、元留学生在働している県内中小企業（4社）を現役の留学生（延べ 23 人）が訪問し、会社でのやりがいや社員の評価について直接聞く機会を設けました。
- また、九州 7 県及び九州経済産業局、九州経済連合会が連携し、九州の企業と九州で学ぶ留学生を結びつける人材マッチングサイト「Work in Kyushu」を運営し、中小企業のグローバル展開を支える人材の確保を支援しました。（平成 29 年度末登録件数：企業 150 社、留学生 176 名）

#### 留学生企業訪問

日時：2017年9月12日(火)  
 訪問先：  
 アイケイ株式会社(志免町)  
 西鉄ホテルクルーム博多(福岡市)  
 参加留学生：8名  
 (中国 3、ベトナム 3 ほか)

日時：2017年9月21日(木)  
 訪問先：  
 株式会社ふくや(福岡市)  
 株式会社エトウ(大川市)  
 参加留学生：15名  
 (中国 8、ベトナム 6 ほか)

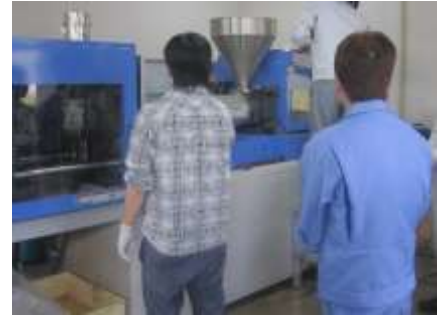
## ② 人材の育成支援

### (企業の新たな取組を支える人材を育成)

- (公財) 飯塚研究開発機構、工業技術センターにおいて、3次元設計、CAE(コンピュータを利用したシミュレーション解析)等のデジタル技術活用講座や、金型、めっき、プラスチック等の製造基盤技術講座を実施しました。191人が受講し、「現場で役立つ具体的な技術が学べ、業務効率が上がった。」などの声がありました。
- また、電子機器の電磁ノイズ対策などのEMC技術やゴムの物性や分析法に関する技術等の講座を実施し、受講者からは「ゴムの配合特性や配合表の例があり参考になった。今後の業務に活かしたい」などの声がありました。
- 工業技術センターは福岡県酒造組合と共同で、数値管理により酒造りができる人材や官能評価ができる人材などを育成するための講座を計13回実施し、延べ339人が参加しました。  
また、新たに官能評価室を数十種のきき酒を行うための酒保管庫を有したものに改修し、大人数での講座実施を可能にしました。
- (公財) 水素エネルギー製品研究試験センター、(公財) 福岡県産業・科学技術振興財団、(株) 久留米リサーチ・パーク等において、成長産業である水素エネルギー、ロボット・システム、医療福祉機器、バイオ関連分野の専門人材を育成するための講習会や研究会などを開催しました。  
延べ2,326人が受講し、バイオ関連セミナーでは、「機能性表示食品の広告に関する注意点や販売展開まで考えた商品開発戦略が聞け勉強になった。」などの声がありました。
- 航空機産業認証取得をテーマにした航空機産業参入研究会、航空機分野のアドバイザーによる県内企業への個別指導や「航空機人材養成講座」を実施しました。講座参加者からは、「航空機産業の認証取得や各技術に関して勉強できたので参考になった」などの声がありました。

デジタル技術活用講座や製造基盤技術講座(H29年度)

講座	受講人数
3次元設計、CAE等 デジタル技術活用講座	98人
金型、プラスチック等 製造基盤技術講座	93人
計	191人



プラスチック講座(実習)風景



官能評価講座の様子

成長産業の人材育成(H29年度)

分野	受講人数
水素エネルギー関連	76人
ロボット・システム関連	1,752人
医療福祉機器関連	190人
バイオ関連	308人
計	2,326人



航空機人材育成講座

- 福岡アジアビジネスセンターにおいて、企業経営者等を対象に、グローバル展開における思考プロセスの習得やケーススタディ、グループディスカッションを行う「グローバル経営者養成塾」を実施しました。



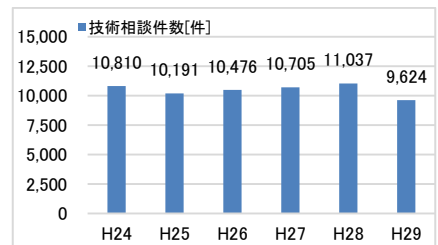
グローバル経営者養成塾

### (3) 技術の高度化の促進

#### ① 研究機関等による技術支援

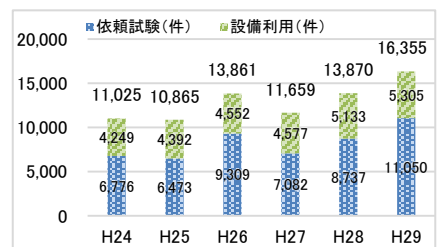
(68 件の受託・共同研究、9,624 件の技術相談、16,355 件の試験分析などにより中小企業の技術の高度化を支援)

- 工業技術センターにおいて、「地域企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、県内企業の競争力向上と自立的な発展を目指して、県内中小企業からの 68 件の受託及び共同研究、9,624 件の技術相談、16,355 件の試験分析などの支援を実施し、23 件が事業化されました。



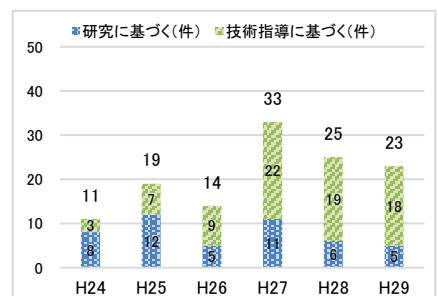
工業技術センターが実施する技術相談

- 工業技術センター機械電子研究所の CAE（コンピュータを利用したシミュレーション解析）を活用したものづくりを支援する CAE 支援ラボでは、県内企業に技術指導（延べ 52 件）を行い、製品開発を支援しました。また、CAE 支援ラボの施設改修を行い、より効果的・効率的な研究開発環境を整備するとともに、機器を活用した人材育成事業の実施環境を整えました。



工業技術センターが実施する試験分析

- ふくおか食品開発支援センター（工業技術センター生物食品研究所内）に導入した試作加工機器や成分分析機器による技術支援を行うとともに、県内食品製造業の商品企画等に対する助言・指導を行う食品開発プロモータを配置し、延べ 174 件の来所相談、延べ 156 件の企業訪問による支援を行い、62 件の試作品作成、15 件の事業化につなげました。



工業技術センター支援による事業化件数



ふくおか食品開発支援センター事業化例「むなかた牛の桐箱入り高級カレー缶詰」

- 工業技術センター化学繊維研究所に、高分子材料（ゴム・プラスチック）並びにフィラー（セラミック、繊維等）の前処理から配合、加工、評価まで一連の開発が可能な高分子材料開発支援ラボを整備しました。

- 技術指導や共同研究等の技術支援を必要とする企業を掘り起こすため、工業技術センターの職員が県内企業 110 社を訪問し、75 社の技術支援を行いました。
- (公財) 水素エネルギー製品研究試験センターにおいて、企業等が開発した水素エネルギー製品の試験を 303 件実施し、製品化を支援しました。また、工業技術センターが開発を支援する水素関連製品についても、評価試験を実施するとともに、アドバイスをを行いました。



水素エネルギー製品研究試験センター  
(糸島市)

## ② 成長分野への参入促進

### (カーメーカー等と連携した自動車部品の軽量化に関する研究会や定置型燃料電池の関連部品に関する研究会などを開催し、116 社が参加)

- 福岡水素エネルギー戦略会議を通じ、水素・燃料電池分野への参入を目指す企業に対し、技術や部品に詳しいアドバイザー 3 人が、技術指導のほか水素・燃料電池分野の企業とのマッチングを支援しました。
- 水素エネルギー産業の拡大にいち早く対応するため、定置型燃料電池(エネファーム)の関連部品に関する情報を提供する研究会を開催し、31 社が参加しました。
- 北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議を通じ、カーメーカー等による部品の軽量化や高機能化の取組について地元企業が理解を深め、今後の部品開発に活かせるよう部品研究会を開催し、延べ 85 社が参加しました。

水素・燃料電池分野への参入促進を図る研究会(H29 年度)

研究会	参加者数
燃料電池部品研究会	31 社 40 人



燃料電池部品研究会

水素分野でのこれまでの製品化事例

- ・ 水素濃度センサー
- ・ 水素ステーション用の金属パッキン
- ・ 高圧水素配管用の部品

など 10 件

自動車部品の開発促進を図る研究会  
(H29 年度)

研究会	参加者数
軽量化部品研究会	55 社 72 人
高機能部品研究会	30 社 48 人
計	85 社 120 人

**（医工連携による機器開発、法規制への対応等の支援により、医療福祉機器分野への参入を促進）**

- 医療福祉機器分野への県内企業の参入や機器開発を促進するため、「ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク」を通じて、コーディネーターによるアドバイス、医工連携による機器開発支援や、法規制への対応支援などを行い、県内企業による医療福祉機器の製品化を6件実現しました。

製品化の事例



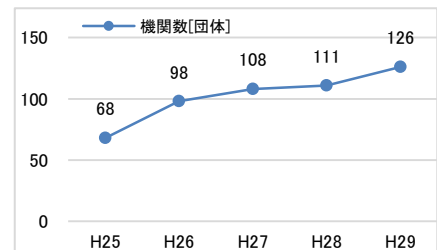
長時間心電用データレコーダ

**（新規有機 EL 材料の実用化を支援するとともに有機光エレクトロニクス分野への県内企業の参入を促進）**

- 有機光エレクトロニクス分野の産業化のために開設した「有機光エレクトロニクス実用化開発センター」において、九州大学安達千波矢主幹教授が開発し世界から注目を集める第3世代の有機EL材料の実用化を支援しました。
- 有機光エレクトロニクス実用化開発センターにおいて、有機光エレクトロニクス分野への県内企業の参入に向け、有機光エレクトロニクス産業化研究会を2回開催し、延べ178人が参加しました。また、研究会への入会機関数も126機関と拡大しました。



第12回有機光エレクトロニクス産業化研究会の様子



有機光エレクトロニクス産業化研究会入会機関数推移

**（フォーラムや技術勉強会、コミュニティ活動の支援等により Ruby・コンテンツ産業への参入を促進）**

- 軽量 Ruby 普及・実用化促進ネットワークを通じ、軽量 Ruby (mruby) の活用に関心を示す企業を幅広く集め、最新情報を発信するフォーラムを開催し、産学官から82人の参加がありました。
- さらに、ネットワークの活動の一環として、「mrubyを活用した実践的IoT研修」を福岡・東京で開催し、27人が参加しました。また、九州各県への軽量 Ruby 普及を目指して同研修を実施し、3県で28人が参加しました。参加者からは、「mrubyの生産性の高さ、使いやすさを実感できた。」などの声がありました。

製品開発事例(H29年度)

製品名	企業
ビジュアルプログラミングアプリ「Springin' (スプリングイン)」への「Rubyによるプログラミング機能」の追加	しくみデザイン株式会社 (福岡市)
歯科医院における施術に関する患者との合意形成サポートシステムの開発	株式会社キューブス (福岡市)
次世代RPAサービスの開発	Vareal株式会社 (福岡市)



- ソフトウェア企業の Ruby／軽量 Ruby を使った革新的な製品開発を支援し、県内企業 3 社が軽量 Ruby 関連製品を新規に開発しました。
- また、県内企業のビジネス促進や福岡の拠点性の発信のため、Ruby による優れた取組を表彰する「フクオカ Ruby 大賞」を実施し、大賞として子供たちが楽しく遊びながら、プログラミングの基礎が学べる「Springin'（スプリンギン）」を表彰しました。
- コンテンツ企業の製品開発を支援するため、優れた作品を表彰する「福岡ビジネス・デジタル・コンテンツ賞」を実施し、受賞者など県内 24 企業・団体を対象に、経営全般に精通し、国内外の市場に豊富なネットワークを持つビジネスプロデューサーが、製品化や事業拡大に向けた事業戦略策定、マーケティング、資金調達の支援を行いました。



フクオカ Ruby 大賞  
大賞受賞作品「Springin'」



福岡ビジネス・デジタル・コンテンツ賞  
大賞受賞作品「CLAP」

#### **（航空機産業認証をテーマにした研究会などを開催し、航空機産業への参入を促進）**

- 福岡県航空機産業振興会議において、航空機産業認証をテーマにした研究会や総会の開催、航空機産業商談会への出展支援などを行いました。
- また、航空機分野への参入を目指す県内企業に対し、専門家による個別指導や航空機製造会社とのビジネスマッチング、航空機産業認証の取得促進など実施しました。
- 航空機産業商談会に参加した企業からは、「航空機関連の企業と話げたので有意義だった」などの声がありました。



福岡県航空機産業振興会議総会



アドバイザーによる個別指導

### ③ 産学官連携等による研究開発の支援

#### (バイオテクノロジー関連分野の製品開発等 16 件を支援)

- 福岡県バイオ産業拠点推進会議を通じ、「核酸医薬」等の次世代医薬品や、線虫を用いた簡便で高精度な革新的がん超早期診断技術の実証試験、バイオテクノロジー関連分野で新製品・新技術の研究開発等を行う県内企業、大学等の共同研究開発チームに対し支援しました。
- 引き続き、実用化・事業化を促進するための支援に取り組み、新たに、本県が誘致を目指している理化学研究所と地域大学・企業との連携により、地域の研究開発体制を強化し、機能性表示食品、医薬品、医療機器等の分野における革新的なバイオ製品の開発を支援します。

#### バイオ関連の製品開発・技術創出支援

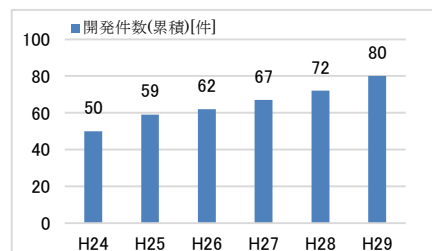
- ・ RNA 技術を基盤とした IPF 診断薬・感染性呼吸器疾患治療薬の開発
- ・ イミダゾールジペプチド高含有高機能化はかた地どりの生産技術開発
- ・ 化粧品用途における福岡県産竹の機能性開発と製品化実現など 16 件

#### (福岡県バイオ産業拠点推進会議の支援により、機能性表示食品など 8 件の製品化を実現)

- 「機能性表示食品」の開発を目指している企業に対し、専門家による開発相談や、消費者庁への届出に必要な科学的根拠の収集を支援する「目利き調査事業」を実施しました。
- そのほか、バイオ関連分野の「製品開発プロジェクト」を実施し、9テーマについて支援しました。これらの支援により、身体的な疲労感の軽減に役立つ機能性表示食品「Q10 AXIS (キューテン アクシス)」など 8 件の製品化を実現しました。

#### 機能性表示食品関連の支援

専門家による開発相談	63 件
消費者庁への届出に必要な科学的根拠の収集支援	30 件
機能性表示食品届出書作成支援	2 件



地場バイオ関連企業による製品開発件数 (累積)

**(IoT 関連の製品・サービスの開発・実証に対する支援、試作開発機器の提供等により IoT 関連産業への参入を促進)**

- 福岡県 IoT 推進ラボの取組みの一環として、福岡県内の中小・ベンチャー企業等が行う、「農作物栽培支援システム」や「乾ノリ生産支援システム」などの先進プロジェクトへの支援を行いました。
- また、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団社会システム実証センター(糸島市リサーチパーク内)において、試作開発機器を提供し、IoT製品の試作開発等に取り組む企業を支援しました。
- こうしたラボの支援により、「介護予防・機能訓練向けゲームシステム」など、県内企業による新しい IoT 製品・サービスが誕生しています。



農作物栽培支援システム



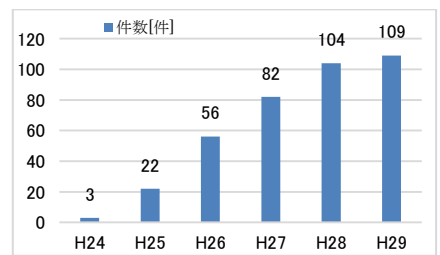
介護予防・機能訓練向けゲームシステム



社会システム実証センター(糸島市)

**(ロボットやシステム開発の研究テーマの選定から事業化に至るまできめ細かな支援を実施)**

- (公財)福岡県産業・科学技術振興財団 ロボット・システム開発センター(福岡システム LSI 総合開発センター内)において、産学共同研究開発のコーディネート、国の補助金等の申請支援や開発・評価機器の提供など、企業が行うロボットやシステムの製品開発を支援しました。



製品開発支援実績件数(累積)



ロボット・システム開発センター(福岡市)

## （工業技術センターが共同研究開発体制を構築し、シールリングの製品化に向けた支援を実施）

○ ゴムの配合技術を有する工業技術センターが、水素脆化メカニズムに関する知見を有する九州大学及び県内ゴム製造中小企業7社との共同研究開発体制を構築し、水素ステーション用、燃料電池自動車用のシールリングの製品化を支援しました。

研究開発の成果として、県内ゴム製造中小企業と共同出願した「高圧ガス用シール部材に用いられるためのゴム組成物および高圧ガス用シール部材」について、特許を取得しました。

（特許第 6312183 号）

### シールリングの製品化に向けた支援

- ・ ゴムの配合検討
- ・ シールリングの試作
- ・ 水素特性評価



高圧水素ガスシール用Oリング

## （付加価値の高い酒造りを支援）

○ 全国新酒鑑評会で県内の酒造メーカーが金賞をとれるよう工業技術センターにおいて酵母の開発を進めた結果、香りと酸味のバランスに優れた酵母を選抜しました。

○ また、県内酒蔵の清酒もろみから市販酒用の優良酵母を選抜・培養し、県内各酒蔵に提供して新商品開発を促進しました（県が提供した酵母を用いた事業実施件数7件）。



酵母の開発における  
小規模な発酵試験の様子

## （産学官民でリサイクル技術等の基本的課題解決や実用化に向けた共同研究プロジェクトを推進）

○ リサイクル技術及び分別回収等の社会システムの開発に関し、事業効果の期待感が高く、事業化の実現可能性の高い研究テーマについて、産学官民で構成される研究会を設置し、調査研究を進めました（研究会数10件）。

○ また、実用化が見込める段階まで研究が進んだテーマについて、実証試験やモデル事業など共同研究プロジェクト4件を実施しました。

○ 引き続き、リサイクル総合研究事業化センターと協力し、産学官民が共同で行う研究開発を支援します。

### 研究会

- ・ きのご糞菌床の乾燥システム開発研究会
  - ・ 浄水汚泥を利用した農業用高機能資材の開発に関する研究会
  - ・ 廃棄物を活用した高性能製鋼副資材の開発研究会
- など10件

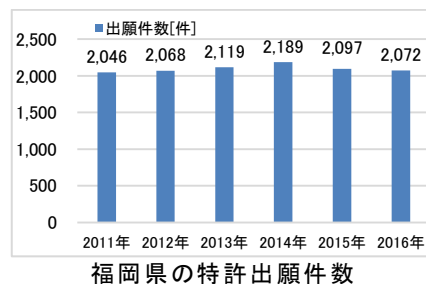
### 共同研究プロジェクト

- ・ 使用済みサーメットチップリサイクルプロジェクト
  - ・ 絶縁油再生処理事業化共同研究プロジェクト
- など4件

#### ④ 知的財産の取得・活用支援

(知的所有権センター(現:知的財産支援センター(H30年度より改称))において、開放特許を活用した新製品開発を促進)

- 中小企業の知的財産に関する悩みや課題の解決支援を目的に県内3か所に設置している知的所有権センターにおいて、特許流通コーディネーターを配置し、県内の中小企業の特許ニーズ等を掘り起こすことで、開放特許を活用した新製品開発を促しました。
- また、中小企業の中で知的財産に携わる人材を育成するため、知的財産実務者育成セミナー(10回)を開催し、57人が受講しました。
- 知的所有権センターと連携し、企業・大学等の開放特許・技術を県内の中小企業に紹介し、中小企業の製品開発につなげることを目的とした「ふくおか知財マッチング in 久留米」を開催し、91人が参加しました。参加者からは「企業や大学ではさまざまな技術があることを再確認した。興味深い研究をされており、知財の活用を前向きに考えたい。」などの声がありました。



ふくおか知財マッチング

## (4) 新たな商品及び役務の開発の促進

### ① デザイン活用の促進

#### (デザイナーを交えた議論を行うワークショップを県内4地域で55回開催)

- 県内企業によるデザインを活用した付加価値の高い商品やサービス開発を促進するため、商品開発の課題を抱える企業と学識経験者やデザイナーを交えた議論を行う、デザイン開発ワークショップを県内4地域で計55回開催し、40件の商品化を支援しました。

参加した41社からは、「様々な立場から率直な意見交換できる貴重な機会となった。」「商品開発の方向性が見えてきた。」などの声がありました。

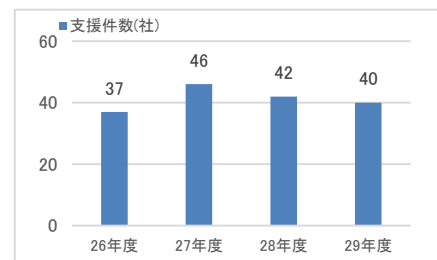
- また、技術やアイデアなどに高い潜在力を有する企業と、複数のデザイナーによるマッチング型のデザイン開発相談を4件実施しました。
- 常設ショップ「る・はかた/D12」の来店客のニーズや販売実績等を活用し、出店企業の商品改良の支援に取り組みました。

また、顧客目線の商品開発を促すため、商業施設等と連携した期間限定の出店支援を実施しました。

- 福岡県産業デザイン協議会において、生活情報誌と連携し、読者参加型の商品開発研究を実施しました。
- 県と福岡県産業デザイン協議会が連携し、付加価値の高い自社製品の開発を促すため、市場性を有しオリジナリティが高いデザイン性の優れた商品を表彰するデザインアワードを開催し、147件の応募がありました。また、受賞商品について、パンフレットでのPRや展示会・商談会への出展助成、常設店舗を活用した新商品販路開拓支援を行いました。



デザイン開発ワークショップ



デザイン開発ワークショップ  
商品化支援件数



る・はかた/D12



第19回福岡デザインアワード

## ② 異業種連携や6次産業化の支援

(商談会を開催し、農商工連携や6次産業化により開発された商品について19件の商談が成約)

- (公財)福岡県中小企業振興センターに「ふくおか6次産業化・農商工連携サポートセンター」を設置し、農林漁業者及び食品加工・流通・販売事業者等の6次産業化の相談に対し、農商工連携アドバイザーによる商品開発等の支援(82社)、即売会(9回)、セミナー(14回)、交流会等の開催(5回)、専門家である6次産業化プランナーの派遣(469件)等を実施しました。

利用者からは、「ブランド構築が進んだ。」「売上が拡大した。」「販路が広がった。」などの声がありました。

- 福岡県商工会連合会と連携し、農商工連携や6次産業化の取組により開発された商品をバイヤーに販売拡大するため、商談会を4回開催しました。

商工業者、農林漁業者が85社、バイヤーが32社参加し、19件が成約につながりました。

- また、九州・山口一体となり、九州・山口産の6次化商品を一堂に集めた「九州・山口こだわりの食」大商談会を開催し、150社が出展、101商品が新たな取引を開始しました。
- さらに、関東及び関西地域の商談会への参加、観光業界や外食産業等を対象としたニーズ調査等を実施しました。



ふくおか「農と商工の自慢の逸品」  
展示商談会



「九州・山口こだわりの食」  
大商談会



福岡県の6次化商品例  
上:セロリと卵のスープ  
下:大豆でできたそいぐると

### ③ 地域資源活用の促進

#### (首都圏におけるテスト販売等を実施し、新たな商品取引が開始)

- 首都圏における県産品の売上拡大のため、県内の工芸品や食品関係事業者を対象とした首都圏のセレクトショップにおけるテスト販売等を実施し、販路拡大や需要開拓を支援しました。テスト販売により、食品 63 商品、工芸品 28 商品が新たに首都圏において取引を開始しました。
- 産地組合等が実施する首都圏での商談会への出展や新商品の開発、消費者への PR 事業などへの助成を行い、販路開拓・需要開拓を図りました。



県内工芸品のテスト販売

テスト販売後の取引開始実績

年度	分類	件数
H28	食品	66 商品
	工芸品	44 商品
H29	食品	63 商品
	あまおうジャム、あかもくスープ、博多和牛ステーキ弁当 等	
	工芸品	28 商品
		久留米餅の帽子、小石原焼の器、藍胎漆器の盆 等

#### (地域資源を活用した特産品の開発、域外からの需要の獲得を支援)

- 商工会議所、商工会を通じ、地域資源を活用した特産品の開発を支援しました。
- 新宮町・古賀市・福津市・宗像市（しこふむ）の地域商品の魅力を PR するための「しこふむフェア」を 4 回開催し、延べ 44 事業者が参加しました。
- (公社)福岡県物産振興会を通じ、首都圏の百貨店で開催された「大九州展」にむけて、しこふむ地域特産品の出展支援を行い、事業者の首都圏における販路拡大を支援しました。
- 「Food EXPO Kyushu 2017」において、期間中の来場者が 14 万人を超える BtoC イベント「九州うまいもの大食堂」及び国内外から約 4 千人のバイヤーが来場する BtoB イベント「国内外食品商談会」それぞれに、しこふむ地域特産品ブースを設置し、県内外の多くの方々への販売及び商談を支援しました。



地域資源を活用した特産品開発事例  
うきは市商工会「柿みそディップ」



Food EXPO Kyushu 2017 への出展



- 嘉飯地域の市町及び洋和菓子店と共同で開発した嘉飯ブランド創作菓子「KURO SELECTION」の販路拡大に向けた支援を行い、地域内外に向けて嘉飯地域の食の魅力をPRしました。

また、「旅する KURO SELECTION」というコンセプトのもと、他地域の県産品（八女茶）とコラボした商品「一福（いっぽく）」を開発し、KITTE 博多にあるふくおか商工会ショップ「DOCORE」において販売を開始するなど、福岡都市圏に向けた販路拡大及びPRを行いました。

- 41 事業者、231 品目が参画する京築地域の地元特産品ブランド「京築セレクト」の販路拡大に向けた情報発信・販売支援を行うとともに、京築産の農林水産物や特産品の展示・販売を行う「京築物産・観光フェスタ」を開催し、京築ブランドのPRを図りました。



KURO SELECTION のパティシエたち



一福



京築セレクト

#### ④ 新サービスや技術の事業化支援 (新サービスや新製品の開発を支援)

- 経営革新計画承認企業を対象に、計画に基づく新サービスの開発や改良に要する経費の一部を助成しました（5件）。
- 革新的なものづくりを行う経営革新計画承認企業を対象に、計画に基づく新製品の開発に要する経費の一部を助成しました（7件）。
- 消費者ニーズを捉えた商品・サービスの開発を支援するため、ターゲットとする顧客のニーズ把握の重要性と、その手法を伝えるセミナーを4回開催し、91社、107人が参加しました。
- また、セミナー参加企業のうち、20社の試作品についてグループインタビューを実施しました。インタビュー結果を踏まえ、商品の特徴をより印象付けるラベルに改善したことにより、出荷数が3倍以上に増えた事例などの成果につながりました。

福岡県中小企業経営革新サービス開発等支援補助金 H29 年度助成事業

カミハル 【久留米市】	生育過程を楽しむインテリア用果樹苗木の生産による収益の向上
----------------	-------------------------------

など5件

福岡県ものづくり中小企業新製品開発支援補助金 H29 年度助成事業

(株)リーフライト 【大野城市】	ソーラーLEDサイン照明の配光設計とコストダウン
---------------------	--------------------------

など7件



商品ラベルの改善事例

**（経済産業省「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」活用により、新たなサービスや製品の開発を支援）**

- 「中小企業の革新的な設備投資やサービス・試作品の開発」を支援する経済産業省「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の公募説明会を福岡県中小企業団体中央会、工業技術センター、福岡県よろず支援拠点、地域中小企業支援協議会が連携し県内5か所で開催しました。
- また、工業技術センターでは、県内ものづくり中小企業110社を個別訪問し、技術課題の解決を支援するほか、設備投資が必要な企業に対しては、補助金の提案支援を実施しました。

経済産業省「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」福岡県の採択件数

	H25年度補正	H26年度補正	H27年度補正	H28年度補正	H29年度補正(1次)
件数	399	451	363	232	297
全国順位	11位	8位	4位	8位	9位

**（5） アジアをはじめとする海外展開の促進**

**① 海外展開に関する意識の醸成**

**（海外展開に関するセミナーや相談会等を開催）**

- 県内中小企業の海外展開をワンストップで支援する福岡アジアビジネスセンターにおいて、海外展開を考える企業を対象に、海外展開に必要な情報提供や人脈づくりのためのイブニングセミナーや、出張セミナーを開催しました。（15回、うち出張セミナー4回）

参加者からは、「進出したい国の法制度や課題が良くわかった。」などの声がありました。

また、知財・法務相談、海外のアドバイザーにオンラインで相談できる個別相談会、現地法規制など定期的な無料相談会を開催しました。（38回、相談対応91件）

**福岡アジアビジネスセンター概要**

開設	平成24年1月
場所	福岡市博多区博多駅前2丁目9-28 福岡商工会議所ビル8階 (平成30年6月に上記住所へ移転)
人員	常駐マネージャー3名 登録アドバイザー62名
機能	①個別コンサルティング ②学習・交流、③情報ハブ ④ビジネスサポート

**イブニングセミナー開催実績(H29年)**

テーマ	参加者数
「中国の高齢者市場で、いま、何が起きているのか」～進出福岡企業から見えてくる市場参入への手がかり～	50
「筑豊から世界を目指せ シリコンバレーからの風」～イノベーションの潮流～	34
「見逃せないこれからのアメリカ市場」	45

など 計15回 356人

## (セミナーや相談窓口等で海外展開の重要性についての理解を促進)

- (公財)福岡県中小企業振興センターにおいて、企業の海外展開に関する相談に対し、窓口相談員等が適切なアドバイスを行うとともに、内容に応じて他の支援機関への紹介を行いました(窓口相談 56 件)。

また、海外貿易機関との連携によるビジネスマッチング支援や海外からの視察団の受入、海外視察への支援・協力、セミナーの開催等を行いました。

- 商工会議所、商工会において、はじめて海外展開を検討する中小企業を対象にしたセミナー等を開催しました(34人参加)。参加者からは、「海外展開を行う際のビジョンを具体的に描く機会になった。」などの声がありました。



H29 年度海外視察  
(韓国高度人材育成機関等視察)



はじめての海外展開セミナー

## ② 海外展開に係る情報の提供及び助言

### (海外事務所において、現地販路の紹介、情報提供など計 463 件の支援を実施)

- 上海、香港、バンコク及びサンフランシスコの海外事務所において、現地における販路の紹介、業界や規制等の情報提供、現地企業への PR などにより県内企業の海外展開を支援しました(463 件)。

#### 海外事務所の支援例

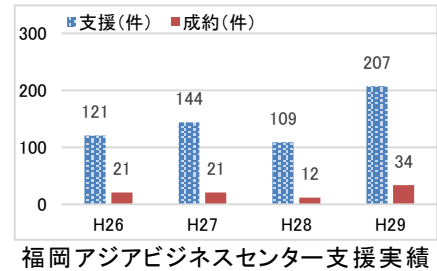
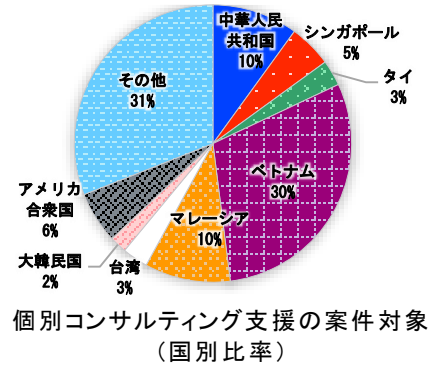
上海事務所が企画して、上海市内の高級レストランで福岡フェアを実施し、中国人富裕層に県産食材を PR。県産米(包装米飯)や県産醤油を使ったメニューを提供したほか、フェアを通じて、県産酒、県内企業が販売する青汁の採用が決まった。

香港の最高級ホテルにおいて、高級レストランシェフを対象とした八女伝統本玉露の PR イベントを実施。これを受けて、八女伝統本玉露を使用したいシェフと県内茶商を仲介し、商談が成立した。

### (福岡アジアビジネスセンターの支援により 34 件の海外展開を実現)

- 福岡アジアビジネスセンターにおいて、常勤マネージャー 3 人が随時相談に応じるとともに、国別・分野別の登録アドバイザー 62 人が個別にサポートしました。

207 件の支援を実施し、販路開拓 24 件、現地進出 7 件、業務委託 3 件、あわせて 34 件の成約が実現しました。



### ③ 海外企業との交流や商談の促進

#### (現地政府機関と連携し、県内企業 39 社と現地企業との商談会を実施)

- 現地の政府機関等と連携し、現地で県内中小企業と現地企業との商談会や交流会、企業訪問、経済交流セミナーなどを実施しました。

延べ 39 社の県内企業が海外を訪問し、現地企業との商談を実施しました。

また、インドネシアからの自動車関連企業ミッション団の受け入れや、タイから 11 社の食品関連企業、5 社の映像制作関連企業を受け入れ、県内中小企業との商談会や、企業訪問などを実施しました。タイデジタルコンテンツ商談会の参加企業からは「実際の発注につながるビジネスパートナーとの出会いがあった。」などの声がありました。

- 上海、香港、バンコク及びサンフランシスコの海外事務所において、現地展示会・商談会への出展支援、現地企業への県産品 PR、現地の業界団体との連携による商談会開催などにより、県内企業の海外展開を支援しました。

タイにおける「EEC 福岡経済ミッション」においては、バンコク事務所が関係機関とのアポイント調整のほか、ミッション参画の呼びかけやブリーフィングを実施し、企業のミッション参加を支援しました。

海外ビジネス訪問団

訪問先	訪問企業数
サンフランシスコ	13 社
ベトナム	14 社
上海	5 社
インドネシア	7 社
計 (延べ)	39 社

自動車関連企業ミッション団の受入

受入国	受入企業数
インドネシア	7 社

アジアビジネスマッチング

受入国	受入企業数
タイ	11 社

タイデジタルコンテンツ商談会

受入国	受入企業数
タイ	5 社



EEC 福岡経済ミッション

- 「福岡県産農林水産物輸出等応援農商工連携ファンド」を活用して、県内の農林漁業者と中小企業者が連携し実施する新たな商品の開発や、国内外への販路を開拓する取組に対し支援しました（海外市場向け 8 件、国内市場向け 2 件）。利用者からは、「連携して実施することで、迅速な商品開発に取り組めた。」などの声がありました。



「福岡県産農林水産物輸出等応援農商工連携ファンド」により  
国際展示会へ出展

## (6) その他新たな事業展開の促進を図るために必要な施策

### (国内外からの観光客の誘致、県内各地への周遊を促進)

- 国内外からの観光客の誘致、県内各地への周遊促進等に取り組む、域内消費の拡大を図りました。
- 産業観光施設における工房見学や工芸品づくり体験など、現地でしか味わうことができない魅力を取り込んだプレミアム感ある体験プログラムを、邦人向けに 4 件、インバウンド向けに 11 件開発しました。

上記の体験プログラムをサポートするための専門知識を身につけた伝統工芸ガイドを 4 人養成しました。

- 海外に展開している県内企業の現地店舗「海外 PR 協力店」82 店舗と連携した本県の観光情報発信を実施しました。

また、写真付メニューなど外国人観光客にやさしい取組を行っている県内の店舗を「インバウンド協力店」として募り、351 店舗を海外に発信しました。

- 観光マーケティングやマネジメントのできる観光人材を育成するため、また「観光地経営」の視点に立った観光地づくりの舵取り役となる観光協会等の機能強化のため、観光人材育成員 3 名を 3 つの観光協会に派遣し、助言・指導を行いました。
- また、観光協会職員等を対象に、観光振興やマーケティングに関する研修会を、年 4 回実施しました。



工房でのモニターツアーの様子

#### 邦人向けの体験プログラムの内容

- ・「博多人形の魅力を知る」  
(梶原正二博多人形工房)
- ・「博多織に触れる」  
(博多織工房おりおり堂) 等

#### インバウンド向けの体験プログラム

- ・「高取焼の歴史や作陶のこだわりを知り、呈茶でゆったりとした時間を過ごす」  
(高取焼宗家)
- ・「300 年守られてきた伝統的製法のこだわり、酢の食文化に触れる」  
(庄分酢) 等

#### 「インバウンド協力店」内訳 [店舗数]

飲食業	187
宿泊業	78
小売業	46
その他	41
計	351

H29 年度末現在

**(福岡県ものづくり中小企業推進会議により技術支援を総合的に推進)**

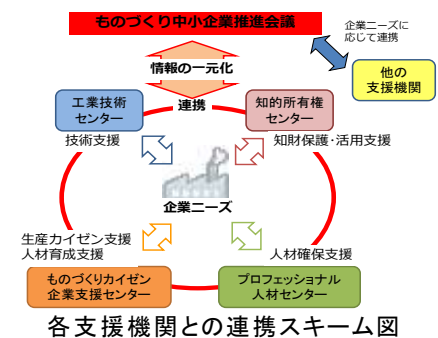
- 「福岡県ものづくりモノ語り 100」(以下、モノ語り 100 という) の発刊記念として「ものづくりシンポジウム 2017」を開催し、265 名が参加しました。基調講演では、モノ語り 100 に掲載された 4 企業の経営者が登壇し、技術開発や生産性向上などに関する先進的な取組を紹介し、技術交流会では掲載された 100 企業全てのパネル展示を行いました。
- 福岡県ものづくり中小企業推進会議の P R、またモノ語り 100 の掲載企業の魅力を発信する目的で、「モノづくりフェア 2017」にブース出展しました。掲載企業のうち、17 社が出展に参加し、各企業のパネル、代表製品の展示を行いました。
- また、福岡県ものづくり中小企業推進会議において、工業技術センターと連携した研究開発・試験分析の支援、知的所有権センターと連携した特許等の取得・活用支援、関係団体やプロフェッショナル人材センターと連携した人材育成・確保支援を実施しました。



ものづくりシンポジウム 2017



モノづくりフェア 2017 出展ブース



**(「経営革新支援資金」で 4 件、約 6 千万円の資金調達を支援)**

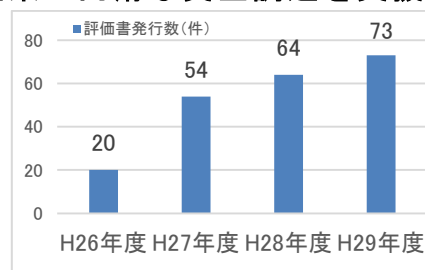
- 県内中小企業者の新分野進出、新商品の開発などにおける資金繰りを支援するため、制度融資「経営革新支援資金」により、4 件、約 6 千万円の低利の融資を行いました。

**経営革新支援資金概要(H29 年度)**

融資対象	・新分野進出、新商品の開発を図る者 ・中小企業新事業活動促進法に基づき、知事の承認を得た者 など	
	成長企業支援型	福岡県中小企業技術・経営力評価制度を利用した者 など
	地域連携支援型	地域中小企業支援協議会において重点支援をうけるもの
限度額	1 億円以内	
	成長企業支援型	1 億円以内 (上記とは別枠)
年率	1.40%	
	成長企業支援型	1.10%
	地域連携支援型	

### （「福岡県中小企業技術・経営力評価制度」により企業の円滑な資金調達を支援）

- 経営革新計画の承認を受けた企業に対し、第三者機関が技術力・成長力・経営力を総合的に評価し、9件の評価書を発行することで、円滑な資金調達を支援しました。



評価書発行数(累積)

### （売上の向上や収益改善を図れるよう、事業計画の策定とその実行を支援）

- 地域中小企業支援協議会の構成員が連携して販路開拓、技術開発など総合的に支援するとともに、商工会議所、商工会を通じ、中小企業が売上の向上や収益改善を図れるよう、経営指導員が中心となって事業計画の策定とその着実な実行を支援しました。



地域中小企業支援協議会による  
販路開拓支援(商談会の開催)

### （大企業と中小企業による連携事業の創出を支援）

- 大企業が出すビジネステーマに対して、中小企業から提案を求めることで、大企業と中小企業による連携事業の創出を支援しました。

大手鉄道会社の「駅ナカや新幹線の車内をより楽しく、快適で、魅力的にする新サービス」など大企業8社がテーマを示し、中小企業が52件提案した結果、15件について事業化を検討することとなりました。

#### ビジネステーマ(H29年度)

- ・ 駅ナカや新幹線の車内をより楽しく、快適で、魅力的にする新サービス
- ・ 銀行のアプリユーザーが金融サービスと併せて使いたくなるスマホを活用した新サービス  
など

### （グリーンアジア国際戦略総合特区制度の活用促進を図り、県内企業の設備投資を支援）

- グリーンアジア国際戦略総合特区活用促進セミナー（県内4地域6会場）を開催し、支援制度の周知や個別相談に応じました。また、特区制度を活用して設備投資に取り組む企業を特区事業者指定しました。
- 企業がグリーンアジア国際戦略総合特区事業の実施に必要な設備投資を行うにあたり、国による課税の特例措置や利子補給金制度などを活用した支援を行いました。



産業用特殊空調設備の開発・生産に取り組む企業を特区事業者指定

- 平成 29 年度までに特区の支援制度を活用して新たな設備投資を行った企業は全体で 62 社（うち中小企業 28 社）、設備投資の総額は約 1,770 億円（うち中小企業約 413 億円）、これに伴う新規雇用者数は約 1,220 人（うち中小企業約 640 人）となっており、制度の利用者からは、「指定法人となったことで、支援制度を活用でき、大きな投資に踏み切ることができた。」などの声がありました。

特区制度活用企業のうち、中小企業の活用状況

区分	企業数	設備投資額 [億円]
環境対応車	17	338.6
レアメタルリサイクル	3	24.5
再生可能エネルギー	3	37.7
有機 EL・LED	2	2.1
水ビジネス	1	0.3
その他	2	10.2
計	28	413.4

H29 年度末現在

### （特区関連の設備投資やリサイクル施設の整備などに対する補助金で企業の設備投資を支援）

- 県内中小企業がグリーンアジア国際戦略総合特区事業に関連して行う設備投資に対する補助を実施しました。  
13 社が補助を活用し、環境対応車や産業用ロボットなどの部品を生産するための設備投資を行いました。
- 産業廃棄物の減量化や資源の有効利用を図るための産業廃棄物リサイクル施設の整備費用の一部を補助しました（2 件、37,500 千円）。

グリーンアジア国際戦略総合特区  
中小企業設備投資促進補助金  
活用実績(H29 年度)

地域	事業者数
北九州地域	7
福岡地域	2
筑後地域	1
筑豊地域	3
計	13

### （立地企業の業種を超えた情報交換・相互協力の推進）

- 県内立地企業相互の情報交換等を行う「福岡県立地企業振興会」では、総会や県内 4 地域の各部会事業として工場視察等を実施しました。総会には、会員企業、大学等の教育機関や行政機関から約 120 人が出席し、活発な情報交換等が行われ、参加者からは、「異業種の方と話ができて有意義であった。」「他業種の具体的な悩みや自治体の取組や考え方が聞けて非常に参考になった。」との声をいただきました。



福岡県立地企業振興会総会

### （異業種から林業への参入促進）

- 新たな事業展開として、建設業や造園業などで林業への新規参入希望をもつ事業者と森林組合・民間林業事業体とのマッチングを行い、安全で効率的な原木生産の技術など木材生産現場でのノウハウ取得を支援しました。この結果、5 社が木材生産を開始しました。



【目標指標の進捗】

指標	目標値 (平成 30 年度)	当初値 (平成 26 年度)	平成 29 年度 実績	進捗状況
経営革新計画 策定企業のうち 売上が向上した 企業数	739 社 (累計値)	139 社	576 社	地域中小企業支援協議会に配置した経営革新計画策定指導員が商工会議所、商工会の経営指導員と連携し、実効性ある計画の策定から実行まできめ細かく支援し、当初値から 437 社増加。
県の支援により 製品の実用化を 実現した企業数	765 社 (累計値)	413 社	680 社	産学官連携による研究開発の推進や専門家による支援、現場ニーズの掘り起こし等を行い、製品開発や実用化を積極的に促進したことにより、当初値から 267 社増と順調に進捗。
次世代産業分野 への参画企業数	88 社 (累計値)	43 社	78 社	今後大きく成長が予想される次世代産業分野において、新たに参入を目指す企業の製品開発、販路開拓を支援したことにより、当初値から 35 社増と順調に進捗。
福岡アジア ビジネスセンター の支援による 海外展開成約 件数	159 件 (平成 30 年) (累計値)	59 件 (平成 26 年)	116 件 (平成 29 年)	海外バイヤーを招いての商談会、海外ビジネス訪問団の派遣等の取り組みにより、当初値から 57 件の増加。相談案件を一件一件きめ細かく支援し、着実に成約につなげるよう支援体制を強化するとともに、越境 EC による販路拡大に向けた支援を行うことで、成約件数の増加を図る。

## 4. 小規模企業者の事業の持続的な発展を図るための施策

本県では、人口減少等の影響により地域の需要が縮小していく中、限られた経営資源で事業を継続・発展させるため、環境の変化や自らの強みを踏まえた事業計画策定の支援、業務の効率化、ICT を活用した売上拡大の支援など小規模企業者の事業の持続的な発展を図るための施策を展開しています。

平成 29 年度は、小規模企業における事業計画の重要性についての理解促進、計画策定の支援、新規顧客の獲得ができるようネット通販の活用支援などに取り組みました。

### (1) 事業の持続的な発展に係る計画策定の促進

#### ① 事業計画の策定支援

##### (小規模企業の事業計画の重要性について理解促進を図り、計画策定を支援)

- 商工会議所、商工会の経営指導員による巡回指導や窓口相談、中小企業診断士や税理士などの専門家の派遣（128 回）を通じ、小規模企業者の事業計画策定を支援しました。
- 地域中小企業支援協議会、商工会議所、商工会を通じ、小規模企業者が事業計画作成の重要性などを理解し、習得できる経営計画作成セミナー等を 78 回開催し、延べ 1,023 人を支援しました。

参加者からは、「事業計画を作成することで、事業の見直しを行うことができた。売上向上のために活用していきたい。」などの声がありました。

- ふくおかサポート会議を通じ、経営改善が必要な小規模企業等に対し、中小企業診断士や税理士等の専門家を活用して延べ 471 社の経営改善計画の策定・実行を支援しました。



経営計画策定セミナー

事業計画策定支援

専門家の派遣	128 回
セミナー等開催	78 回 (延べ 1,023 人)
ふくおかサポート 会議を通じた支援	延べ 471 社

## (2) 生産性の向上の促進

### ① 生産性向上に係るノウハウ等の習得支援

(生産性向上のためのセミナー等を開催し、年間 531 人が受講)

○ 商工会議所、商工会の経営指導員による巡回指導や窓口相談、中小企業診断士などの専門家の派遣(48回)を通じ、小規模企業者の生産性向上を支援しました。

○ また、商工会議所、商工会を通じて、小規模企業者が生産性向上のノウハウ等を理解・習得できる「ITを活用した生産性向上セミナー」等を24回開催し、延べ394人が参加しました。

参加者からは、「ICTツールの活用方法や活用による効果を学ぶことができた。導入について前向きに検討していきたい。」などの声がありました。

○ このほか、中小企業者、小規模企業者の非製造部門について、生産性向上を促進するためのセミナーを開催し、延べ137人を支援しました。

参加者からは「本を読んでも分かり難かったところを理解することができた。」との声がありました。また、講座終了後には希望のあった2社にアフターフォローを実施しました。

商工会議所、商工会  
生産性向上のための主なセミナー

セミナー名称	参加者数
最新 SNS ビジネス活用セミナー	58
ITを活用した生産性向上セミナー	49
IT講習会	34

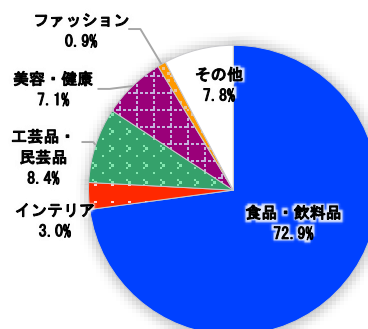
など24回開催、延べ394人参加

### ② ICTの活用による売上拡大の支援

(販路拡大、新規顧客の獲得ができるようネット通販の活用を支援)

○ (公財)福岡県中小企業振興センターにおいて、よかもん市場への出店支援から出店後の相談、セミナー等の開催によりネット通販への参加を支援しました(平成29年度末出店数104店)。引き続き、よかもん市場の利用拡大に努めます。

○ 県においても、県内IT企業と連携したワークショップの開催や個別訪問指導により、小規模企業者24社のネット通販の活用を支援しました。



よかもん市場 商品カテゴリー内訳

### (3) その他小規模企業者の事業の持続的な発展を図るために必要な施策

#### (経営指導員による巡回指導や専門家の派遣により経営全般にわたり支援)

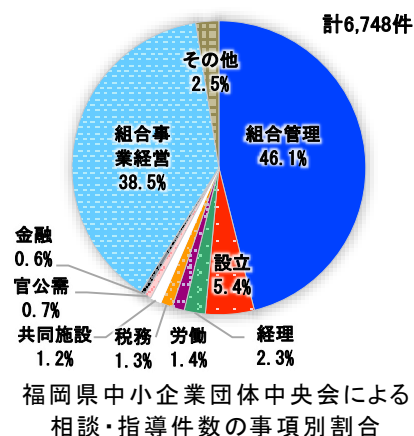
- 商工会議所、商工会の経営指導員による巡回指導や窓口相談、専門家派遣を通じ、金融、税務、労務、社会保険、経営・技術の改善等の経営全般にわたる支援を行いました。
- また、地域中小企業支援協議会において、商工会議所、商工会等が発掘した経営改善に意欲的な小規模企業を支援するとともに、県内小規模企業が事業計画に基づいて実施する売上や収益の一層の向上に資する取組を支援しました。

商工会議所、商工会の巡回指導等

巡回指導	47,501 企業 99,290 件
窓口指導	28,458 企業 90,217 件
計	75,959 企業 189,507 件

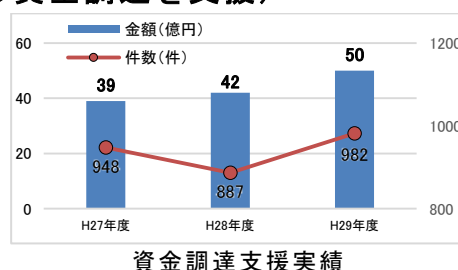
#### (小規模企業の組織化及びその組織の相談指導等を支援)

- 福岡県中小企業団体中央会において、中小企業組合等の相談指導等の支援（6,748件）を行いました。また、組合の設立など中小企業の組織化を支援し、26件の組合が県知事認可により新規設立しました。



#### (「小規模事業者振興資金」で982件、約50億円の資金調達を支援)

- 県内小規模企業者の資金繰りを支援するため、制度融資「小規模事業者振興資金」により982件、約50億円の低利の融資を行いました。



#### 小規模事業者振興資金概要(H29年度)

融資対象	従業員20人(商業・サービス業は5人(*)以下)の小規模企業者	
	小口零細企業保証型	上記かつ当該申込を含め保証付き融資残高が1,250万円以下の者
限度額	5,000万円(設備資金8,000万円)以内	
	小口零細企業保証型	1,250万円以内
年率	1.40%	
保証料率	0.25%~1.62%	
	小口零細企業保証型	0.30%~1.75%

\*宿泊業及び娯楽業の場合は20人以下

### (小規模事業者の展示会出展)

- 小規模事業者の展示会出展を支援し、福岡インターナショナルギフトショーに8社、ママキッズフェスタに6社が共同出展しました。出展企業からは、「良いマーケティングができた。」などの声がありました。



福岡インターナショナルギフトショー

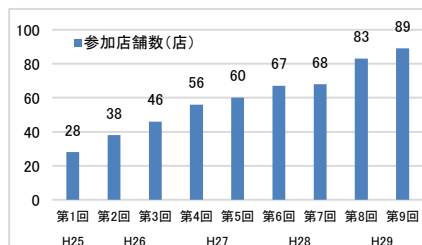
### (商店街活性化に向けた創意工夫ある取組を支援)

- アーケード照明のLED化やWi-Fiの設置等の施設整備事業(10件)、商店街マップの作成、駅前でのマルシェの開催等の活性化事業(5件)を支援しました。
- また、まちづくりによって生まれる新たな交流人口・居住人口を商店街に呼び込むために、国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画区域内の商店街を対象に、魅力ある店舗の誘致や「まちゼミ(※)」の開催等、集客力の向上を図る取組を支援しました(2件)。「まちゼミ」を実施した店舗からは、「初めて来店された方が多く、これをきっかけに興味を持っていただき、再来店につながった。」等の声がありました。
- また、「まちゼミ」参加店舗を中心に10店舗を対象として、商店街の店舗指導の専門家を派遣し、繁盛店を創りだすための取組を支援したところ、半数以上の店舗で2割以上の売上増となりました。



活性化支援事業(まちゼミ)

(※) 店主が講師となり、プロならではの専門的な知識等を無料で紹介する少人数制のゼミ。店主と客のコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、再来店に繋げる。



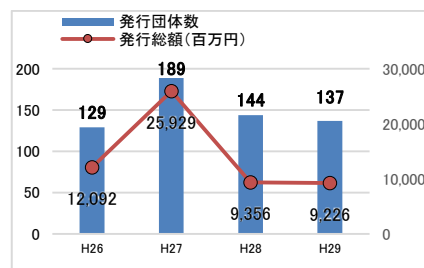
「まちゼミ」の参加店舗数  
(久留米市中心商店街)



活性化支援事業  
(専門家による店舗指導)

## (プレミアム付き地域商品券の発行を支援)

- 個人消費を喚起し、商店街をはじめ地域経済の活性化を図るため、商工会議所、商工会、商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援しました(発行団体 137 団体、発行総額約 92 億円)。



地域商品券発行実績

※H27 は、国の経済対策による交付金措置があったため、発行実績が突出している。

【目標指標の進捗】

指標	目標値 (平成 30 年度)	当初値 (平成 26 年度)	平成 29 年度 実績	進捗状況
商工会議所、商工会の経営指導員による経営改善等指導企業数	46,500 社 (単年度実績)	41,451 社	47,501 社	商工会議所、商工会において、支援を必要とする中小企業の掘り起こしを強化することにより、47,501 社と目標値を上回って順調に進捗。
売上又は経常利益が向上した重点支援企業のうち小規模企業者	62 社 (累計値)	—	115 社	地域中小企業支援協議会の構成機関が連携して、重点支援企業が抱える個々の課題に応じ、きめ細かく支援したことにより、115 社と目標値を上回って順調に進捗。

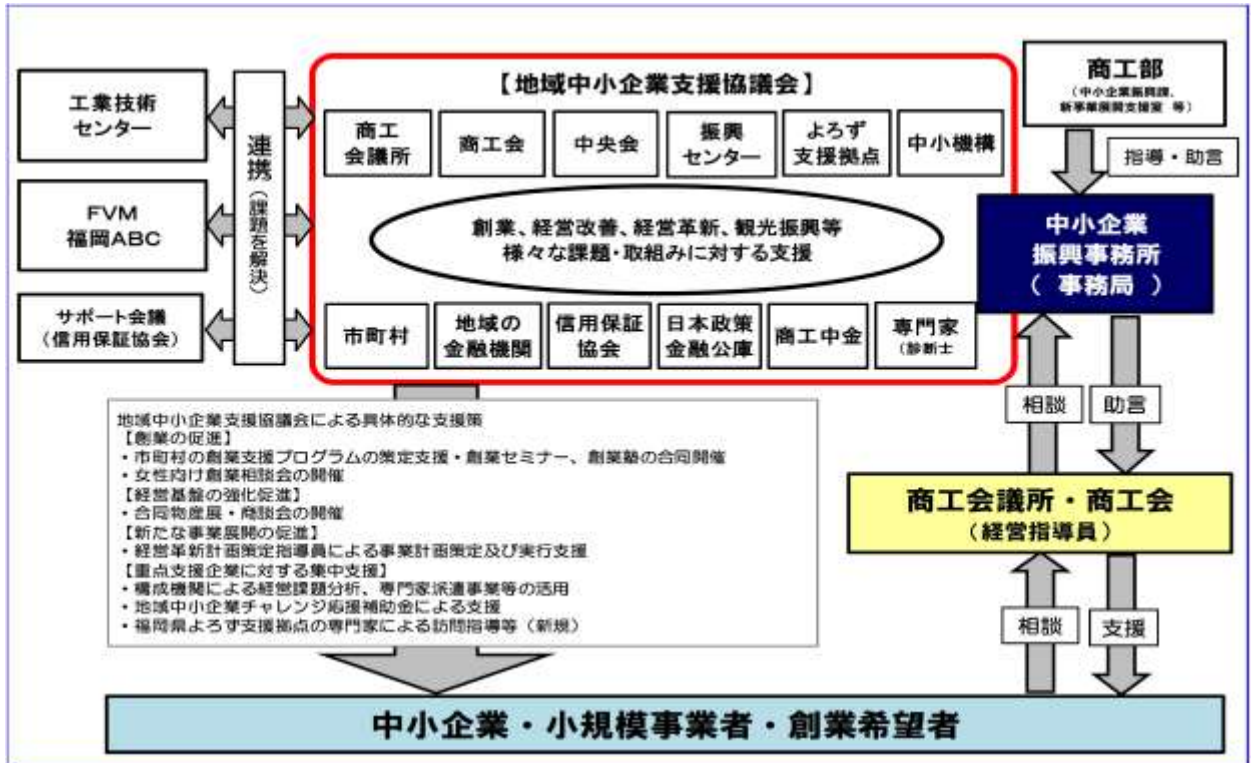
## 5. 地域中小企業支援協議会の取組

### (1) 地域中小企業支援協議会について

福岡県中小企業振興基本計画では、平成27年4月に県内4地域に設立した地域中小企業支援協議会を地域における支援体制の拠点として位置付けています。

＜構成機関＞：商工会議所、商工会、福岡県中小企業団体中央会、（公財）福岡県中小企業振興センターなど中小企業支援団体、金融機関、専門家団体、市町村など

＜事務局＞：中小企業振興事務所（北九州、福岡、久留米、飯塚）



### (2) 平成29年度の取組内容

地域中小企業支援協議会			
北九州	福岡	筑後	筑豊
○創業セミナーの開催 ・ 講座数 41 ・ 参加人数 1,717 人	○創業セミナーの開催 ・ 講座数 30 ・ 参加人数 701 人	○創業セミナーの開催 ・ 講座数 35 ・ 参加人数 403 人	○創業セミナーの開催 ・ 講座数 12 ・ 参加人数 136 人
○4地区合同物産展・商談会の開催 ・ 物産展 8 社出展 ・ 商談会 16 社参加	○4地区合同物産展・商談会の開催 ・ 物産展 15 社出展 ・ 商談会 45 社参加	○4地区合同物産展・商談会の開催 ・ 物産展 13 社出展 ・ 商談会 17 社参加	○4地区合同物産展・商談会の開催 ・ 物産展 6 社出展 ・ 商談会 21 社参加
○経営革新計画支援 ・ セミナー等の情報提供 ・ 関係機関を通じた計画策定の促進	○経営革新計画支援 ・ セミナー等の情報提供 ・ 関係機関を通じた計画策定の促進	○経営革新計画支援 ・ セミナー等の情報提供 ・ 関係機関を通じた計画策定の促進	○経営革新計画支援 ・ セミナー等の情報提供 ・ 関係機関を通じた計画策定の促進
○重点支援企業への支援 ・ 106 社選定し事業計画の策定及び実行を支援 など	○重点支援企業への支援 ・ 118 社選定し事業計画の策定及び実行を支援 など	○重点支援企業への支援 ・ 147 社選定し事業計画の策定及び実行を支援 など	○重点支援企業への支援 ・ 86 社選定し事業計画の策定及び実行を支援 など



## 【北九州地域中小企業支援協議会】

### <創業支援>

#### 女性創業相談会の開催

開催回数	参加者数	相談会参加後の創業者数
12回	延べ23人	5人(H30.9末時点)

#### 事例

風のしずくとみどりのうさぎ（行橋市）	
概要	産婦人科の看護師 20 年以上勤務経験を生かし、自然治癒力に効果のあるという「米糠酵素風呂」を平成 29 年 7 月に創業。
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年 1 月、創業相談のため行橋商工会議所を来所。その際に女性創業相談会の活用を勧める。</li> <li>女性創業相談会では、事業計画策定や資金調達の手法等について助言指導。</li> <li>相談後は資金調達のため、行橋商工会議所と信用保証協会との連携により開業資金を受けて平成 29 年 7 月に開業。</li> <li>開業後は商工会議所からチラシ等を活用した集客方法についての助言指導を受け、顧客拡大につながっている。</li> </ul>



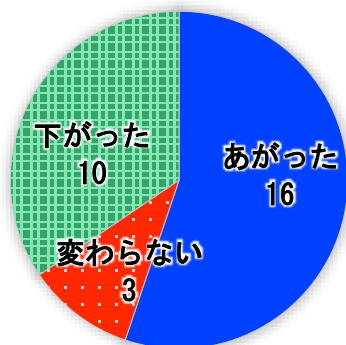
米糠酵素風呂



店舗看板

### <経営革新>

平成29年度に経営革新計画が終了した企業の売上状況 [社数]



計画を策定、実行した事業者の声

- ・事業計画の作成を行う過程で、事業の見直しができる。
- ・ものづくり補助金や新連携事業などに取り組み、会社全体の意識が変わった。
- ・自社PRとなった。モチベーションが上がった。後継者の積極性、経営関与が深まった。

#### 事例

- ・ パルセイユ（株）（芦屋町）は、自然素材を 100%使用した化粧品販売会社である。地元芦屋町・商工会と協力して特産品の赤紫蘇（無農薬）を原料とした化粧品・石鹸等を企画・販売することにより、地域ブランドの向上を図るとともに売上高約 1.6 倍を達成した。

<重点支援企業>

重点支援企業数

業種	小売・卸売業	製造業	建設業	サービス業	その他	計
H27 選定企業数 (うち小規模)	12 (12)	10 (9)	5 (5)	10 (9)	3 (3)	40 (38)
H28 選定企業数 (うち小規模)	11 (11)	8 (8)	6 (6)	14 (11)	1 (0)	40 (36)
H29 選定企業数 (うち小規模)	8 (5)	6 (6)	2 (2)	10 (8)	0 (0)	26 (21)

事例

中華バル 武遊 (遠賀町)	
企業の取組概要	平成 27 年 2 月:宗像市から遠賀町へ店舗移転(平成 11 年 11 月開業) 平成 29 年 4 月:菜種油を使ったオリジナルソース「遠賀の愛」を開発 平成 30 年 1 月:平成 29 年度福岡県 6 次化商品コンクールにて「遠賀の愛」が審査員特別賞を受賞
支援内容	<p>遠賀川駅前にある中華料理店。代表は陳建一氏の「四川飯店」で修業した本格派。遠賀町特産の菜種油を使った料理とソースが人気。支援協議会の支援により新たな市場開拓に挑戦。</p> <p>H29.10 重点支援企業に選定 H29.10 経営革新計画の策定支援 H29.11 支援協議会合同商談会に出展 H29.11 商工会ショップ DOCORE に出品 H29.12 福岡県戦略的首都圏マーケティング事業に出展 H29.12 経営革新計画承認 H30.1 ふくおか農と商工の自慢の逸品展示商談会に出展 H30.1 支援協議会「バイヤー目線による売れる6次化商品づくり」に参加 H30.3 ものづくり補助金申請支援</p>



店舗外観



特産菜種油と「遠賀の愛」

<その他の支援>

- ・ 福岡県農林水産部と連携した遠賀町産の菜種油の農商工連携による販売促進等、遠賀地域、京築地域の特産品の販路開拓を支援
- ・ 経営革新等認定支援機関の福岡ひびき信用金庫、遠賀信用金庫及び商工中金北九州支店と連携し、経営革新企業を新たに掘り起し、計画策定や実行を支援
- ・ 北九州商工会議所等と連携した会社合同説明会により中小企業の人材確保支援 など

## 【福岡地域中小企業支援協議会】

### <創業支援>

#### 女性創業相談会の開催

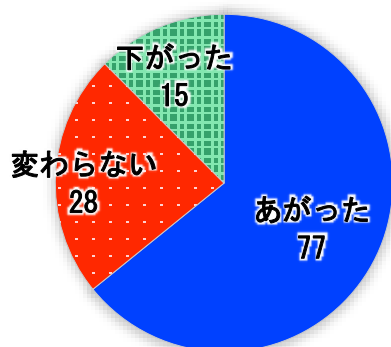
開催回数	参加者数	相談会参加後の創業者数
12回	延べ39人	5人(H30.9末時点)

#### 事例

オングリット株式会社（福岡市）	
概要	<p>土木建築サービス業（道路法改正（平成25年9月）により義務付けられた橋梁点検の現場記録手書き図面を各自治体の仕様に沿ってCAD図面化） 夫の仕事（ゼネコンで点検等に使用する道具の開発）の報告書作成を5年ほど手伝いCAD制作のスキルを身につけ開業する。</p>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月、11月の女性創業相談会において、資金計画、起業方法、個人事業と法人の比較など助言指導。また日本政策金融公庫福岡西支店の相談員から融資申し込みの説明を行う。</li> <li>・福岡よかとこビジネスプランコンテストを案内。同コンテストのワークショップでビジネスプランについて助言（一次、二次審査を経て、最終審査にファイナリストとして進出）。</li> <li>・日本政策金融公庫の融資を受け、平成30年3月開業。</li> <li>・FVM登壇（平成30年4月）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>福岡よかとこビジネスコンテスト</p>  <p>ファイナリスト進出</p> </div>

### <経営革新>

平成29年度に経営革新計画が終了した企業の売上状況 [社数]



計画を策定、実行した事業者の声

- ・計画を多面的に検討する機会となり、事業の進行を適切に行えるようになった。
- ・会社の目標、実績等を明確に図に描けたことが良かった。
- ・経営革新承認企業である旨を名刺に記載し、セールストークに活用できた。

#### 事例

- ・青柳醤油（古賀市）は、醤油需要減少のなか、新商品「梅ポン酢」を開発。経営革新計画に沿って積極的に展示会、商談会に出展。百貨店等の新たな販路の開拓に成功し、売上が1.4倍に増大した。

<重点支援企業>

重点支援企業数

業種	小売・卸売業	製造業	建設業	サービス業	その他	計
H27 選定企業数 (うち小規模)	32 (30)	10 (10)	5 (5)	19 (17)	0 (0)	66 (62)
H28 選定企業数 (うち小規模)	11 (10)	12 (10)	2 (2)	8 (7)	0 (0)	33 (29)
H29 選定企業数 (うち小規模)	9 (8)	2 (2)	0 (0)	8 (7)	0 (0)	19 (17)

事例

株式会社二光 (宗像市)	
企業の取組概要	<p>H19.3 造園工事業。エクステリア・ガーデンショップとして宗像市に設立。 スタッフ全員女性を採用。女性目線でのガーデンデザインを提案。</p> <p>H20.12 日本最大級のエクステリアコンクール「LIXILエクステリアコンテスト」で全国賞受賞(H20年からH26年まで7年連続全国賞受賞。H22年、H23年全国銀賞受賞。H26年ストーリー賞日本一。)</p> <p>H23.2 経営革新計画承認</p> <p>H28.11 経営革新計画承認</p> <p>H29.10 ガーデンカフェ、セレクトショップオープン</p>
支援内容	<p>H27.8 重点支援企業に選定</p> <p>H28.7 小規模事業者持続化補助金採択 (チラシ作成、新聞折り込み実施)</p> <p>H28.8 県地域中小企業チャレンジ補助金採択</p> <p>H29.3 カフェ開業前事前指導</p> <p>H29.8 集客・販売促進に関する専門家派遣</p> <p>H29.9 宗像市小口事業資金斡旋(運転資金融資)</p> <p>H29.10 県地域中小企業チャレンジ補助金を活用し、展示場内のミニハウスを改修し、ガーデンカフェとセレクトショップオープン。</p> <p>H30.1 ホームページ作成(リニューアル)に関する専門家派遣</p> <p>H30.2 経営改善指導(工事原価管理について)</p>



事務所



モデルガーデン

<その他の支援>

- ・女性創業相談会に女性中小企業診断士に加え、日本政策金融公庫の女性融資担当職員が相談員として参加し、資金調達、融資の相談対応を同時に実施。
- ・福岡商工会議所において毎月4日間、経営改善専門指導員による窓口相談会を実施。
- ・ものづくり補助金説明会を開催し、補助金公募要領及び県の支援施策の説明を実施(参加者454名)。また、経営改善専門相談員によるものづくり補助金個別相談会を3日間開催(相談実績14社)。 など

## 【筑後地域中小企業支援協議会】

### <創業支援>

#### 女性創業相談会の開催

開催回数	参加者数	相談会参加後の創業者数
12回	延べ21人	5人(H30.9末時点)

#### 事例

花寿し（大牟田市）	
概要	<p>県内でも数少ない女性すし職人が、15年間の修業を経て、すし店「花寿し」を平成30年2月16日に開業。空き店舗を改装し、小さな子ども連れのお母さんたちでも気軽に立ち寄れる店を目指し、雑貨や絵本を置いたりキッズスペースを設けたりと、女性の視点をいかした店づくりを行った。</p> <p>メニューは、昼は寿司ランチや、寿司カフェ風にスイーツのデザートを提供し夜はコース料理などを提供する。お昼の客は、期待通り8割が女性客である。</p>
支援内容	<p>平成29年度「第1回おおむた起業塾」を受講。商工会議所の担当者と創業計画書を作成し、平成29年9月に女性創業相談会を利用。相談員から資金計画（設備投資、運転資金）についてアドバイスを行った。</p> <p>また、大牟田市と大牟田商工会議所と連携して推進する街なかストリートデザイン事業（中心市街地の空き地・空き店舗をお持ちの方と新規出店者をマッチングする事業）を利用し店舗を選定した。さらに、大牟田市起業家事業費補助金を活用し、店舗改装費用の一部に充当。融資は、日本政策金融公庫の生活衛生新企業育成資金を活用。</p>



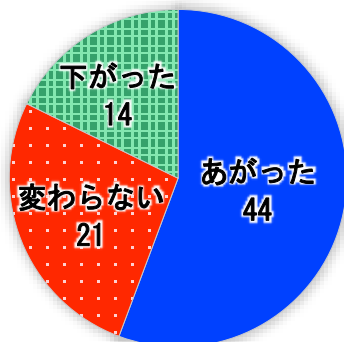
店舗外観



店舗内装

### <経営革新>

平成29年度に経営革新計画が終了した企業の売上状況 [社数]



計画を策定、実行した事業者の声

- ・資金計画、販売計画をスムーズに立てられ、売上増につながった。
- ・経営革新計画を基にした「ものづくり補助金」が採択された。
- ・計画を立てることにより、経営課題が明確になった。

#### 事例



- ・明治7年の創業以来、伝統製法である杉木桶仕込みによる天然醸造丸大豆醤油を製造しているクルメキッコー(株)が経営革新計画を承認取得。商品のさらなる増産および伝統製法を用いた醤油を原料とした醤油加工品を開発し、商工会議所の販路開拓支援事業にて出展した展示商談会にて大きな成約が得られた。

<重点支援企業>

重点支援企業数

業種	小売・卸売業	製造業	建設業	サービス業	その他	計
H27 選定企業数 (うち小規模)	12 (9)	28 (23)	2 (2)	8 (7)	13 (8)	63 (49)
H28 選定企業数 (うち小規模)	14 (10)	18 (15)	0 (0)	10 (9)	1 (1)	43 (35)
H29 選定企業数 (うち小規模)	9 (8)	17 (15)	3 (2)	5 (3)	7 (5)	41 (33)

事例

株式会社 中山吉祥園 (八女市)	
企業の 取組 概要	<p>平成 25 年度に「ハラール認証取得によるイスラム文化圏へのお茶の輸出」で経営革新計画承認。</p> <p>平成 26 年 4 月に日本緑茶業界では初めてハラール認証を取得し、イスラム圏をはじめとした海外での販路拡大を図っている。</p> <p>現在、平成 29 年度に新たに承認を受けた経営革新計画に基づき、「八女茶を粉末にしたパウダーグリーンティー」の開発、自社生産体制の確立、販路開拓を行っている。</p>
支援 内容	<p>平成 27 年度 八女市商工会の推薦により、経営支援モデル企業に選定。</p> <p>ハラール商品開発や販路拡大のための支援や、経営革新計画策定支援を実施。</p> <p>H28.11 合同商談会に参加</p> <p>H29.7 経営革新計画承認 「八女茶を使用したハラール認証 パウダーグリーンティーの商品開発、 海外展開」</p> <p>H29.8 チャレンジ応援補助金採択 「ハラールティーバックの個包装化」</p> <div style="text-align: center;">  <p>ハラール認定茶</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>店舗外観</p> </div>

<その他の支援>

- 地域中小・小規模事業者の商品のブラッシュアップ・販路拡大のため、岩田屋久留米店の食品関係バイヤーの協力を得て、求評・商談会を毎年7月に開催。平成29年度は12事業者が参加。

## 【筑豊地域中小企業支援協議会】

### <創業支援>

#### 女性創業相談会の開催

開催回数	参加者数	相談会参加後の創業者数
12回	延べ36人	2人(H30.9末時点)

#### 事例

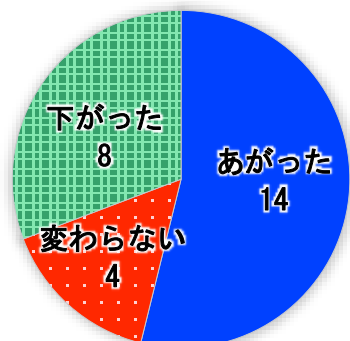
石けん工房花華（小竹町）	
概要	<p>H27.10 創業。業種：製造業（無添加石けん、化粧品販売） 化粧品製造販売業許可、化粧品製造業許可あり。 生産量は一日150個、月に20日程度の稼働。 北海道のラベンダーやハマナス、沖縄の月桃葉、ココナッツオイル等、材料調達も個人で行っている。</p>
支援内容	<p>・H28.1～2 小竹町商工会の創業スクールに参加後、商工会の資金繰り相談、経営計画書作成の支援を受けた。 ・H28.10 支援協議会合同商談会出展。 ・H29.8 商工会からの勧めで、女性向け創業相談会で販路開拓について相談。 ・相談員より石けん・化粧品販売各社の販促方法、顧客等について解説。顧客像を具体的にイメージし、ニーズに合わせ商品を考え、販売促進には口コミ・紹介が効果的と説明。 ・相談後、HPの改善、Facebookの開設、人脈を広げた結果、販売が促進され、売上が月10万円程度増加した。</p>



無添加石けん

### <経営革新>

平成29年度に経営革新計画が終了した企業の売上状況【社数】



計画を策定、実行した事業者の声

- ・将来的な段階目標となり経過・実績を検証できるため、次段階の目標修正に役立つ。
- ・店の強みを明確化し、アピールすることができた。
- ・ものづくり補助金の加点になった。
- ・様々な制度融資が受けられた。

#### 事例

- ・精密部品・金型部品製造を行う(有)九州精密は、外注工程の内製化を目標に経営革新計画を策定。低利融資制度を利用して放電加工機を導入したことで生産性が向上し、売上高の増加につながった。

## <重点支援企業>

### 重点支援企業数

業種	小売・卸売業	製造業	建設業	サービス業	その他	計
H27 選定企業数 (うち小規模)	16 (12)	10 (10)	3 (2)	11 (9)	3 (2)	43 (35)
H28 選定企業数 (うち小規模)	6 (5)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	12 (9)
H29 選定企業数 (うち小規模)	7 (5)	13 (11)	5 (5)	6 (5)	0 (0)	31 (26)

### 事例

株式会社野上養鶏場 (鞍手町)	
<b>企業の取組概要</b>	<p>S30.4 先代が創業、鶏卵生産に取り組む。 現代表が「味宝卵」ブランドでの生産販売網を確立。現在、北九州・筑豊を中心に 600 以上の店舗が顧客となっている。</p> <p>H28.4 経営革新計画承認 H29.10 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定 H29.10 畜産クラスター事業により採卵鶏舎1棟を増設</p>
<b>支援内容</b>	<p>販路拡大に向けて、鞍手町、鞍手町商工会等と連携して支援。</p> <p>H27.10 重点支援企業に選定 H27,H28 支援協議会合同商談会出展 H29.5 国のものづくり補助金を活用し最新洗卵選別設備導入 H29.7 農商工等連携促進法に基づく事業計画認定に向けて、支援協議会専門相談及び中小機構アドバイザーによる指導を活用 H29.12 県地域中小企業チャレンジ補助金を活用し、自社直売所案内の大型看板設置 H30.1 「農と商工の自慢の逸品」展示商談会参加 その他、鞍手町では筑豊フェアや町イベント(産業まつり等)への出展を通して、販路拡大を積極的に支援</p>



味宝卵



案内大型看板

## <その他の支援>

- ・平成 29 年 9 月 12 日に「ちくほうビジネスフォーラム in 嘉穂劇場」を開催。重点支援企業 7 社を含む 15 社がビジネスプラン発表や展示商談を行い、異業種交流によるビジネス連携に繋がった。
- ・福岡デザインアワードについて、支援協議会として周知広報に努め、管内事業者から過去最多の 15 件の応募があり、大賞を含め 6 件が入賞した。



## 6. 平成 29 年 7 月九州北部豪雨 被災者支援の取組

平成 29 年 7 月 5 日からの大雨による災害に対し、県では災害対策本部を設置し、発災直後から、関係機関と一体となって、人命救助、被災地の応急復旧、避難された方々への支援に全庁を挙げて取り組んできました。

被災地の皆様の生活や経済活動が一日も早く回復するよう被災者支援に取り組み、うち商工業者に対する支援として、金融支援、相談体制の構築、事業再開・継続支援、販売支援、風評被害対策に取り組みました。

### (1) 金融支援

#### ◎緊急相談窓口の設置

- 中小企業振興事務所、商工会・商工会議所、金融機関、市町村、商工関係団体に対し、相談窓口を設置するとともに、被災事業者からの融資相談等に迅速かつ適切な対応を要請する文書を発出（平成 29 年 7 月 6 日）。

#### ◎緊急経済対策資金「緊急特別融資枠」の創設

- 今回の災害を、県制度融資緊急経済対策資金の「知事の指定する風水害」に指定。併せて、既存の借入れについて、返済条件の緩和措置を周知（平成 29 年 7 月 7 日）。
- 上記の緊急経済対策資金から更に金利を引き下げ、既存の融資限度額の別枠とするとともに、信用保証料を全額県が補てんすることにより中小企業の負担をゼロとする「緊急特別融資枠」を設定（平成 29 年 7 月 11 日）。

#### ◎セーフティネット保証 4 号の認定を受けた被災商工業者に対する資金繰り支援

- 朝倉市、東峰村、添田町において、大雨災害により売上が減少しセーフティネット保証 4 号の認定を受けた中小企業に対し、緊急経済対策資金により円滑な資金繰りを支援（平成 29 年 7 月 13 日）。
  - ※セーフティネット保証 4 号指定地域にうきは市が追加（平成 29 年 8 月 10 日）。
  - ※上記 4 市町村について、地域指定が平成 30 年 2 月 9 日まで延長（平成 29 年 11 月 10 日）。
  - ※うきは市、朝倉市、東峰村について、地域指定が平成 30 年 5 月 9 日まで延長（平成 30 年 2 月 9 日）。

### (2) 相談体制

#### ◎経営指導員等による被災状況、支援ニーズの把握

- 中小企業振興事務所職員及び商工会・商工会連合会、商工会議所の経営指導員が被災現場を確認するとともに、被災企業から聞き取りにより被害状況及び支援ニーズを把握（平成 29 年 7 月 10 日～）。

## ◎現地における相談体制の強化

- 現地における相談支援体制を強化するため、県商工会連合会に対し、朝倉市商工会及び東峰村商工会への経営指導員等の派遣を要請(平成29年7月12日)。平成29年7月13日から17日まで、商工会連合会から朝倉市商工会に職員2名を派遣。これ以降は朝倉市商工会の要請に応じて随時応援。平成29年7月24日から8月10日まで、東峰村商工会に週2日程度職員1名を派遣。

## ◎ワンストップ相談会の開催

- 国や金融機関等と連携し、平成29年7月31日及び8月4日に朝倉市役所朝倉支所において、被災企業等のためのワンストップ相談会を開催。平成29年9月以降は、筑後地域中小企業支援協議会(事務局:久留米中小企業振興事務所)が中心となり、朝倉市商工会本所において、「ワンストップ定例相談会」を毎週月曜日(祝祭日の場合はその翌日)に開催(平成29年10月まで。相談実績48社60件)。平成29年11月以降は、企業の希望があった場合に個別に対応。

## (3) 事業再開・継続支援

### ◎地域中小企業支援協議会による総合的な支援

- 企業からの具体的な支援要望があった場合は、県、商工会・商工会議所、中小企業振興センター、中小企業団体中央会、信用保証協会、金融機関、中小企業診断士などの専門家などで構成される地域中小企業支援協議会(筑後、筑豊)が、各構成機関の支援メニューを活用することにより、総合的に支援。

### ◎被災した小規模事業者への販路開拓支援

- 被災事業者が行う販路開拓を支援する国の「小規模事業者持続化補助金(九州北部豪雨災害対策型)」に採択された事業者に対し、自己負担の一部補助を実施。

<補助率> 1/12 (国の補助率 2/3 と合わせると補助率 3/4)

<対象地域、補助上限>

朝倉市、東峰村・・・国：100万円、県 12万5,000円

添田町・・・・・・・・国：50万円、県 6万2,500円

<支援実績>

141件(朝倉市121件、東峰村16件、添田町4件)

### ◎伝統的工芸品産業の復興振興

- 国指定の伝統的工芸品「小石原焼」の産地の早期復興を図るため、東峰村が被災窯元のために整備する「共同窯」の設置費用を支援。

<設置場所> 小石原焼伝統産業会館内

<補助額> 450万円(建屋を含む建設費約900万円、補助率1/2)

※ 平成29年10月1日、「共同窯」の火入れ式を実施。同月31日、建屋竣工。

### ◎被災企業が利用するオープンラボの機器使用料免除

- ㈱久留米リサーチ・パークにおいて、被災企業に対し、オープンラボ（素材実験室、生物実験室、バイオ測定室）の機器使用料を免除。
  - ※ 平成 29 年 7 月 5 日に遡って適用（年度末まで）

### ◎ 復興支援プレミアム付き地域商品券の発行支援

- 被災地に広く消費を呼び込み、商工業者の売上回復による早期復興を図るため、商工会議所、商工会が行う復興支援プレミアム付き地域商品券の発行支援。
  - ＜概要＞ プレミアム率：20%
    - 補助内容：販売総額の 100 分の 10 相当（プレミアム分）、事務経費
  - ＜実績＞ 朝倉商工会議所・朝倉市商工会：発行額 6 億円（販売額 5 億円）完売  
東峰村商工会：発行額 6 千万円（販売額 5 千万円）完売
  - ＜使用可能期間＞ 平成 30 年 1 月 28 日～6 月 30 日

### ◎国の補助金を活用した、生産設備等の復旧支援

- 生産設備等に被害が生じた被災事業者に対し、生産性向上に資する新たな設備投資を支援する国の「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」（平成 29 年度補正予算）の活用を促すとともに、補助金申請に係る申請手続き等を支援。
  - ※ 筑後地域中小企業支援協議会が、平成 30 年 2 月 2 日に朝倉市で補助制度に係る説明会を開催。また、平成 30 年 2 月から 3 月にかけて計 5 回、同市で個別相談会を開催。
  - ※ 工業技術センターが、申請企業に対し提案書作成を支援。

## （４） 販売支援

### ◎被災商工業者の売上回復を図るため、支援物産展等を開催

- 県庁 1 階ロビーにおいて小石原焼の販売コーナーを設置し、小石原焼の茶碗や皿、カップなどを販売する「小石原焼窯元 支援物産展」を開催（平成 29 年 7 月 20 日～21 日）。
  - ※ 参加窯元数 30 窯、販売品数約 2,000 品
  - ※ 平成 29 年 7 月 24 日～9 月 29 日 県庁 11 階よかもんカフェで販売
- 公益財団法人福岡県中小企業振興センターが、JR 吉塚駅構内において、被災地域（朝倉市・東峰村・添田町）の特産品を販売する「復興応援即売会」を開催（平成 29 年 8 月 2 日～3 日）。（参加事業者 21 社）

### ◎「福岡県災害復興販売支援センター」の設置

- 被災地の事業者の売上回復を図るため、民間企業等から復興支援販売の申し出を受け付ける総合窓口「福岡県災害復興販売支援センター」を設置。被災地

の事業者との連絡調整、販売会の実施や出展にかかる手続きを支援。

<実施期間> 平成 29 年 8 月 21 日～平成 30 年 3 月 31 日

<対象地域> 朝倉市、東峰村、添田町、うきは市

<取扱品目> 小石原焼、酒、木工製品、農林加工品、農産物など

<委託先> 福岡県商工会連合会

### ◎イベント等における、被災地復興支援

- 平成 29 年 8 月 5 日、北九州市で開催された第 30 回わっしょい百万夏まつりの会場（勝山公園芝生広場）に福岡県ブースを設置。同ブース内で被災市町村の観光パンフレットの配布、朝倉市による地域特産品（レトルトパックの筑前朝倉蒸し雑煮、原鶴温泉化粧水）の販売や観光大使「女王 卑弥呼」による募金の呼びかけを実施。
- 平成 29 年 8 月 26 日～27 日、天神中央公園にて、西日本新聞と共催で朝倉市、東峰村をはじめとする被災市町村の特産品の販売や観光 PR を行う「平成 29 年 7 月九州北部豪雨復興イベント」を開催。

## （５） 風評被害対策

### ◎インターネット、新聞、雑誌や旅行会社などへの説明を通じた正確な情報発信

- 平成 29 年 7 月 6 日、福岡県観光連盟のホームページやソーシャルネットワークワーキングサービスを通じて、国内外の観光客に対し、多言語で交通状況や気象などの情報を発信。
- 平成 29 年 7 月 13 日、被害を受けた旅館及び道の駅が営業を再開する予定であることから、改めて「原鶴温泉」や「筑後川温泉」のすべての旅館が営業していること、「原鶴温泉」までの迂回路としてうきは市側からの通行が可能なことなどを福岡県観光連盟のホームページやソーシャルネットワークワーキングサービスで発信。
- 県内外の旅行会社やエアラインを訪問し、「原鶴温泉」等の営業状況、交通状況などを説明。
- 平成 29 年 7 月 15 日～18 日の 4 日間、東京都庁 2 階全国観光 PR コーナーにおいて、被災地（朝倉市・東峰村・添田町、大分県日田市・中津市）のポスター展示、パンフレット配布等を行い、観光施設や宿泊施設の営業状況等地域の情報を来場者に発信。

### ◎総領事館等への要請

- 大韓民国、中華人民共和国、ベトナム社会主義共和国の各総領事館、台北駐福岡経済文化弁事処を訪問し、主要な交通インフラは復旧しており、主要観光地では多くの施設が通常通りの営業を行っていることを伝え、海外からの観光客に安心して来ていただけるよう要請活動を実施（訪問済：42 箇所）。

## ◎「ふくおか応援割」の実施

○ 風評被害の解消と夏休み、秋の旅行シーズンに向けた旅行需要喚起のため、被災地やその周辺での宿泊や観光を組み込んだ旅行商品の割引を支援する「ふくおか応援割」を実施。

<販売期間> 平成29年8月13日～平成30年1月末

<割引対象> 朝倉市、東峰村、添田町、うきは市の宿泊・観光を組み込んだ商品

<割引内容> 宿泊付3,000円/人、日帰り2,000円/人

<送客目標> 23,000人

<購入者数> 23,219人

※ 「ふくおか応援割」の情報等を特設ウェブサイトで発信。

(<http://fukuoka-ouen.com>)

## ◎被災地の観光物産PRに対する補助

○ 風評被害の解消と夏休み、秋の旅行シーズンに向けた旅行需要喚起のため、被災地の団体が観光物産PRを目的に実施するイベントに対して補助を実施。

<対象地域> 朝倉市、東峰村、添田町、うきは市

<対象団体> 市町村、市町村観光協会、温泉地組合、産地組合 等

<補助率> 2/3

